



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
535 AWD EPOS



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性	
1.1 安全性の定義	4
1.2 一般的な安全注意事項	4
1.3 設置の安全注意事項	5
1.4 操作のための安全注意事項	5
1.5 メンテナンスのための安全注意事項	5
1.6 バッテリーの安全	6
1.7 本製品の持ち上げと移動	6
1.8 サイバーセキュリティ	6
2 はじめに	
2.1 サポート	8
2.2 製品の説明	8
2.3 製品の概要	9
2.4 製品に表記されるシンボルマーク	10
2.5 LED ステータスインジケータ	11
2.6 バッテリーのマーク	11
2.7 製品の損傷	11
3 仮想境界を使用した設置	
3.1 はじめに - 設置	12
3.2 システムの説明	12
3.3 EPOS™ を使用して設置する場合のシステム概要	13
3.4 設置用の主要部品	13
3.5 設置準備	13
3.6 リファレンスステーションの設置場所について	14
3.7 チャージステーションの設置場所について	14
3.8 電源装置の取り付け場所について	15
3.9 地図上のどこに物体を設置するかを検討する	15
3.10 本製品の設置	18
4 境界ワイヤーを使用した設置	
4.1 はじめに - 設置	23
4.2 設置用の主要部品	23
4.3 設置準備	23
4.4 ワイヤーを設置する前に	23
4.5 本製品の設置	28
4.6 ペグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する	30
4.7 ワイヤーまたはケーブルを埋設する	30
4.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法	30
4.9 チャージステーションを目視点検する方法	31
4.10 Husqvarna Fleet Services™ によるペアリング	31
5 設定	
5.1 スケジュール	32
5.2 刈高	32
5.3 パターン	33
5.4 構成	33
5.5 設置の設定	34
5.6 Bluetooth® メニュー	36
5.7 エラーログ	36
5.8 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA)	36
5.9 チャージステーションを地図上に再設置するには	36
5.10 リファレンスステーションを地図上に再設置するには	36
6 Operation (操作)	
6.1 本製品をオンにする	37
6.2 動作モードの [Start (開始)] を選択する	37
6.3 動作モード - Park (駐車)	37
6.4 本製品の停止方法	38
6.5 本製品をオフにする	38
6.6 バッテリーの充電	38
7 メンテナンス	
7.1 はじめに - メンテナンス	39
7.2 メンテナンスのスケジュール	39
7.3 製品の清掃	40
7.4 ブレードの交換	41
7.5 バッテリー	42
7.6 冬期の保守	42
8 トラブルシューティング	
8.1 はじめに - トラブルシューティング	43
8.2 メッセージ	43
8.3 チャージステーションの LED インジケータ	53
8.4 症状	54
8.5 ループワイヤーの損傷を発見	56
9 搬送、保管、廃棄	
9.1 搬送	59
9.2 保管	59
9.3 廃棄	59

10 主要諸元

10.1 主要諸元..... 61

10.2 登録商標..... 63

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件..... 64

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の遊具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 本製品は玩具ではありません。本製品のブレードは、人や動物を負傷させるおそれがあります。
- 作動中は、8 歳未満のお子様は作業エリアに立ち入らないように注意してください。作動中は、お子様および動物を常に監視する必要があります。
- 本製品の作動中は、人と本製品との距離を 3 m（10 フィート）以上空ける必要があります。本製品の作動中は、作業エリアで睡眠を取ったり日光浴をしたりしないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。常に自分が安全で安定した位置にいることを確認してください。急斜面での作動時は、本製品の近くに人がいないことを確認してください。appDrive を使用して本製品を操作しているときは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。
- 本製品をオフにするには、本製品の後方で STOP ボタンを押します。アプリを使用して本製品を一時停止することができます（該当する製品の場合）。本製品をオフにした後、3 秒以上待ってから本製品を移動してください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医療機関にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源を電源コンセントに接続する際は、クラス A の接地事故回路遮断装置（GFCI）または最大定格値 30 mA の漏電遮断器（RCD）を備えた電源コンセントを使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「廃棄 59 ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水／中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場

合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照：はじめに - 設置 12 ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照：Operation（操作）37 ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正のスペアパーツを使用します。「メンテナンス 39 ページ」を参照してください。
- 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「主要諸元 61 ページ」を参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全に保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作温度および保管温度範囲は 0-50 °C / 32-122 °F です。充電時の温度範囲は 5-45 °C / 41-113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 人がつまずくおそれがあるエリアには、チャージステーションを設置しないでください。
- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から 60 cm（24 インチ）以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。

- 米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル（RCD）に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。本製品をオフにする 38 ページを参照してください。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。スケジュール 32 ページを参照してください。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードが障害物に当たると、損傷するおそれがあります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。本製品の停止方法 38 ページを参照してください。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- [STOP] ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリンクラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリンクラーが同時に動作しないようにしてください。スケジュール 32 ページを参照してください。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。
- 損傷したバッテリーは使用しないでください。バッテリーが損傷している場合は破棄します。「廃棄 59 ページ」を参照してください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

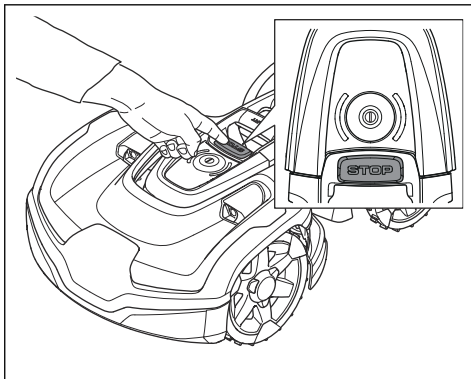


警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。LED ステータスインジケータの消灯時、本製品はオフになっています。

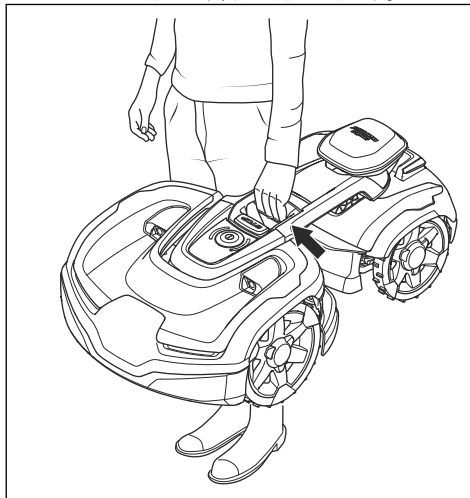


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **[STOP]** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。
4. LED ステータスインジケータが消灯することを確認します。
5. ハンドルを持って本製品を持ち上げます。



1.8 サイバーセキュリティ

セキュリティの推奨事項：

- 信頼性のないネットワークやパブリックネットワーク上で、本製品のセットアップや操作をしないでください。
- システムのセキュリティを維持するために、利用できるファームウェアのアップデートがないかを定期的に確認してください。

1.8.1 Bluetooth® インターフェイス

Bluetooth® インターフェイスはデフォルトで有効になっており、セットアップやモバイルデバイスへの接続、ローカルデバイスの制御、本製品とモバイルデバイスの構成をサポートします。Bluetooth® 接続では、アプリを介して、製品ごとに異なる PIN コードまたはパスワードを使用します。すべてのデバイス接続は、標準的な BLE 暗号化によって保護されます。セキュリティを強化するために、強力な一意の PIN を使用してください。

1.8.2 セルラーインターフェイス

セルラーインターフェイスは、コンパニオンアプリ経由によるリモートアクセスを可能にし、ファームウェアのアップデートに対応して、位置情報サービスを提供します。本製品は、業界標準のプロトコルを使用して、携帯電話通信による接続の安全性を確保します。

1.8.3 位置情報サービス

位置情報サービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。これは、ジオフェンス機能（盗難防止機能）を有効にして、コンパニオンアプリで本製品の位置を表示するサービスです。

1.8.4 外部サービス

ネットワークインターフェイスで以下のサービスを利用できます。

- バックエンドサービス：コンパニオンアプリ、Web ベースのポータル、またはテレメトリデータ交換によるアクセス認証により、本製品の安全な管理と構成を実現します。
- ファームウェアのアップデートサービス：このサービスは、無線通信経由で新しいファームウェアを本製品に送信します (FOTA)。これらのアップデートにより、本製品のセキュリティおよび製品機能が最新の状態に維持されます。
- 位置情報サービス：このサービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。利用するには、アプリでこのサービスを有効にする必要があります。

2 はじめに

製造番号：

製品番号

PIN コード：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

2.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。サポート 8 ページを参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。本製品は、バッテリーの充電残量が低下するか、作業エリアの芝刈りが終了するまで稼働し、チャージステーションに移動します。本製品の動作は、不規則またはシステムティックなパターンに設定できます。頻繁に芝刈りを行うことで、

芝の質を向上させ、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

2.2.1 設置方法

本製品は、EPOS™ 技術を使用した仮想境界、または境界ワイヤーを使用した物理的境界で設置できます。

EPOS™ 技術による仮想境界を使用する設置については、*仮想境界を使用した設置 12* ページを参照してください。境界ワイヤーの設置については、*境界ワイヤーを使用した設置 23* ページを参照してください。

2.2.2 接続性

Husqvarna Fleet Services™ は、プロ向けロボット芝刈機の設置、操作、監視のためのデジタルツールです。Web サイト www.husqvarna.com とモバイルアプリの両方で利用可能で、Bluetooth® テクノロジーとリモート制御に対応しています。

- 1427 - 014 -

20. 電子部品とモーターを搭載したフロントシャーシ
21. ブレード
22. ブレードディスク
23. 接触板
24. チャージステーションの LED インジケータ
25. チャージステーション
26. 電源¹
27. 低電圧ケーブル
28. 境界ワイヤーとガイドワイヤー用のループワイヤー²
29. ループワイヤーのコネクター³
30. ペグ⁴
31. ループワイヤーのカブラー⁵
32. チャージステーション取り付けネジ
33. 境界ワイヤー設置用測定ゲージ (測定ゲージは本製品の Karton から取り外します)
34. 取扱説明書およびクイックガイド
35. アラームステッカー
36. リファレンスステーション EPOS® RS5⁶
37. リファレンスステーション EPOS® RS 4G⁷

2.4 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。しっかりと確認してください。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



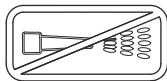
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



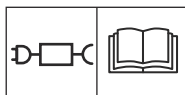
警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。本製品に手や足を近づけたり、本製品の下に手や足を入れたりしないでください。



本製品のお手入れに高圧洗浄機や流水を使用しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は UK 指令適合製品です。



本製品は家庭ゴミではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルを短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。ケーブルの敷設場所で際刈りをする場合は、十分に注意してください。

¹ 外観は市場によって異なる場合があります。

² 別売りの設置キットの一部です。

³ 注 1 を参照

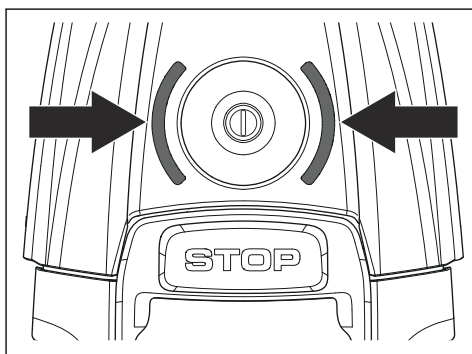
⁴ 注 2 を参照

⁵ 注 1 を参照

⁶ 別売り。

⁷ 別売り。

2.5 LED ステータスインジケータ



LED	ステータス
緑色の点灯	動作中です。
緑色ライトの点滅	一時停止しています。
緑色ライトの脈動	充電中
赤色の点灯	エラーです。
オレンジ色の点灯	停止中です。
オレンジ色ライトの点滅	PIN コードの待機中
青色の点灯	駐車／Bluetooth® 接続済み。
青色ライトのバルス点灯	駐車して充電中です。
赤色ライトの点滅	駐車／Bluetooth® ペ어링操作が有効になっています。
白色の点灯	製品がオフに設定されているか、ファームウェアをダウンロードしています。
白色ライトのバルス点灯	ファームウェアをインストール中です。

2.6 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.7 製品の損傷

以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

3 仮想境界を使用した設置

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 システムの説明

EPOS™ を使用して仮想境界を設置する場合、本製品は、衛星と修正データを使用して移動します。修正データは、Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションを介して受信します。リファレンスステーションは、Husqvarna® Cloud に接続できない場合に使用できるオプションのアクセサリです。

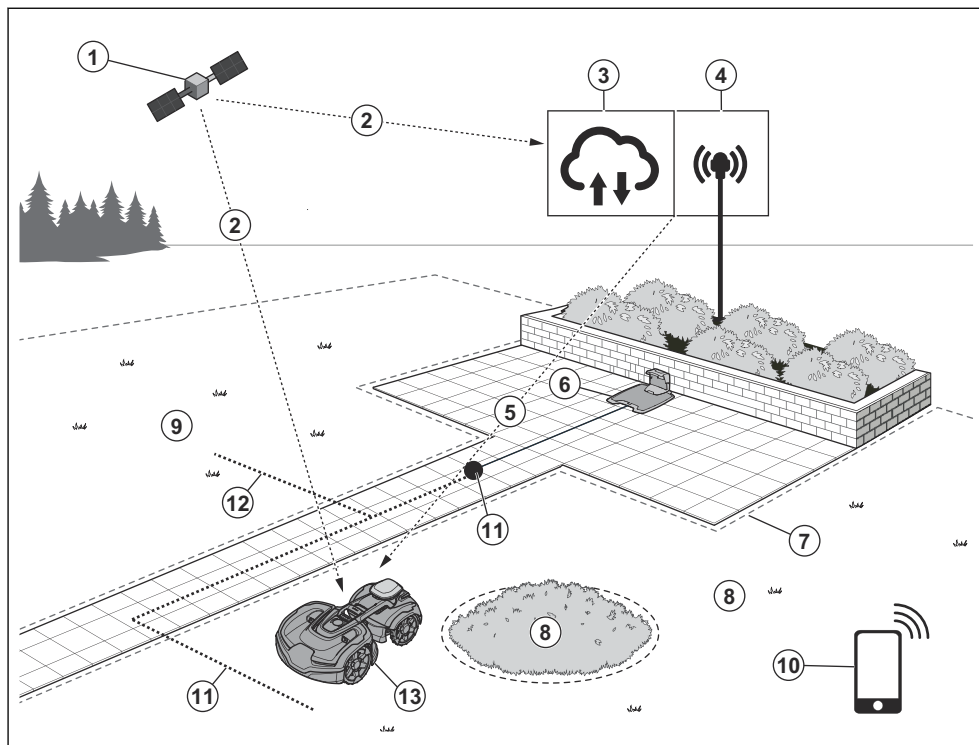
リファレンスステーションには 2 つの種類があります。リファレンスステーション EPOS® RS 4G は、携帯電話通信を利用して本製品に信号を送信します。本製品とリ

ファレンスステーション EPOS® RS 4G 間の最大許容距離は 25 km (16 マイル) です。リファレンスステーション EPOS® RS5 は無線通信を利用して本製品に信号を送信します。本製品とリファレンスステーション EPOS® RS5 間の最大許容距離は 500 m (1640 フィート) です。リファレンスステーション EPOS® RS5 はリピータとして使用できます。別のリファレンスステーション EPOS® RS5 に接続できます。接続すると、通信範囲を拡大できます。

注記： 一部の国や地域は、リファレンスステーションまたは Husqvarna® Cloud による修正データに対応していません。詳細については、最寄りの地域の Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

設置する際は、アプリの appDrive で本製品を操作します。通過点が追加されて、アプリ内の地図が作成されます。作業エリアとは、本製品が作動し、芝を刈るエリアです。本製品が入れない進入制限ゾーンを作成することもできます。チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。ドッキングポイントと作業エリアの間を移動するには、輸送経路が必要です。輸送経路を移動する際に、本製品は芝を刈りません。輸送経路を作成する 21 ページを参照してください。

3.3 EPOS™ を使用して設置する場合のシステム概要



1. 衛星
2. 衛星信号
3. Husqvarna® Cloud
4. リファレンスステーション⁸
5. 修正データ
6. チャージステーション
7. 仮想境界
8. 進入制限ゾーン
9. 作業面積
10. モバイルデバイス
11. ドッキングポイント
12. 輸送経路
13. ロボット芝刈機

3.4 設置用の主要部品

設置には以下の部品が必要です。

- 自動で芝刈りを行うロボット芝刈機。

- 本製品を充電するチャージステーション。
- チャージステーションおよび 100 V～240 V 電源コンセントに接続した電源。
- リファレンスステーション⁹：衛星信号を受信し、ロボット芝刈機に補正データを送信する。
- 本製品の設置および設定を行うための Husqvarna Fleet Services™ アプリを搭載したモバイルデバイス。

3.5 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

⁸ オプションのアクセサリ（別売）。

⁹ 別売り。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。こうすることで、チャージステーション、リファレンスステーション、仮想境界の設置位置の検討が容易になります。
- 青写真に、チャージステーション、リファレンスステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、作業エリアと進入制限ゾーンの仮想境界を設置する場所をマークします。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は **5 cm / 2 インチ** 以下にする必要があります。

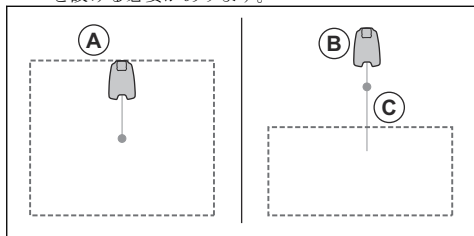
注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

3.6 リファレンスステーションの設置場所について

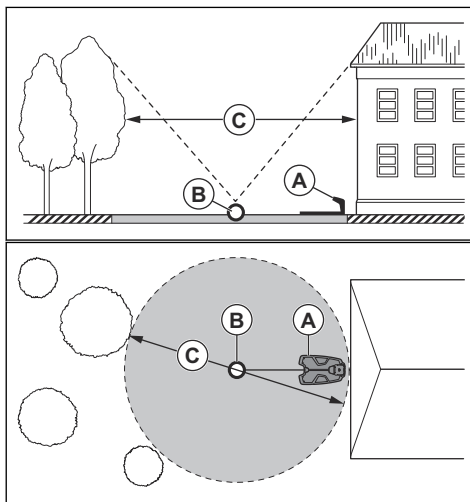
リファレンスステーションの設置場所に関する指示を読み、理解してください。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。

3.7 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションは作業エリア内に置くことも、作業エリア外に置くこともできます。チャージステーションを作業エリア (A) に設置する場合、輸送経路は不要です。本製品がチャージステーションのドッキングポイントにあるときに、それらが完全に作業エリア内である場合、輸送経路は不要です。チャージステーションとドッキングポイント (B) が作業エリア内にない場合は、輸送経路 (C) を設ける必要があります。

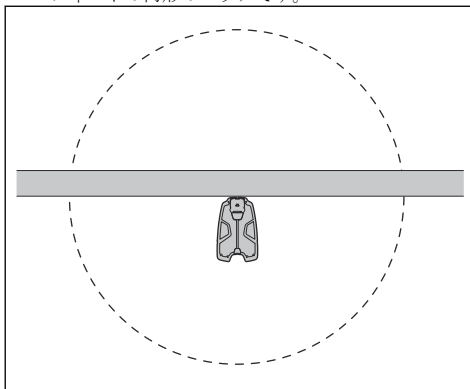


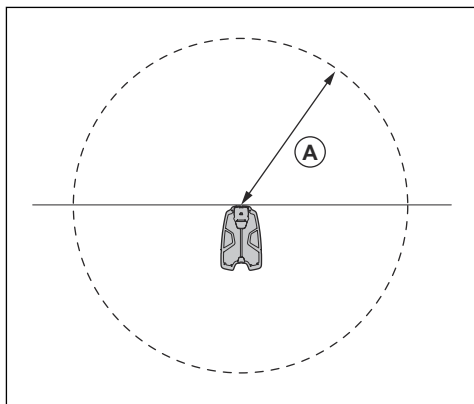
- チャージステーションは **Automower®** ハウス内に設置することができます。
- チャージステーション (A) は、上空視野を遮るものがないドッキングポイント (B) に設置してください。チャージステーションのドッキングポイント (B) とは、チャージステーションを出た本製品が停止する場所です。開始距離は **100-250 cm / 40-98 インチ** に設定できます。**Husqvarna** は、チャージステーションの前に **6 m / 19.6 フィート (C)** 以上の空きスペースを設けることをお勧めします。



注記： 開始距離が短いと、わだちができるリスクが減少します。ドッキングポイントで良好な衛星信号を受信するには、開始距離を長くする必要があります。

- ドッキングエリアの一部で本製品が動作しないようにするには、高さが **15 cm / 6 インチ** 以上の保護壁を設置してください。ドッキングエリア (A) は、チャージステーションの周辺にある半径 **3 m / 9.8 フィート** の円形のエリアです。





注記： 本製品は、ドッキングエリアにいるときに、チャージステーションの信号を使用してチャージステーションを探します。

- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。
- 作業エリアが急斜面により 2 つの場所に分割されている場合、Husqvarna は、低い方の場所にチャージステーションを設置することをお勧めします。



注意： 地中に金属製の物体が埋まっている場所にはチャージステーションを設置しないでください。金属製の物体がチャージステーションの信号と干渉する可能性があります。

3.8 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- クラス A 接地故障回路遮断器 (GFCI) または最大定格値 30 mA の漏電遮断器 (RCD) を備えた電源コンセントを使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.9 地図上のどこに物体を設置するかを検討する



注意： 作業エリアが水域、斜面、崖、または公道に面している場合は、仮想境界に保護壁を設置する必要があります。この保護壁の高さは、15 cm / 6 インチ以上にする必要があります。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

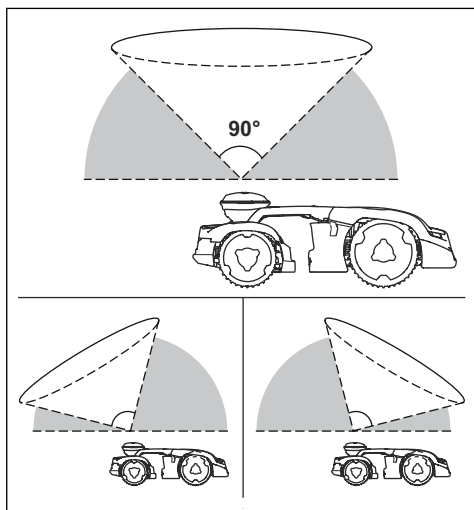
- Husqvarna は、チャージステーションから最も離れた設置場所までを最大距離とすることをお勧めします。最大距離は 200 m/650 フィートです。

注記： 斜面や芝が長く伸びた場所があると、最大距離は短くなります。

- 作業エリアのすべての場所で、本製品が Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションからの修正データを受信できることを確認します。

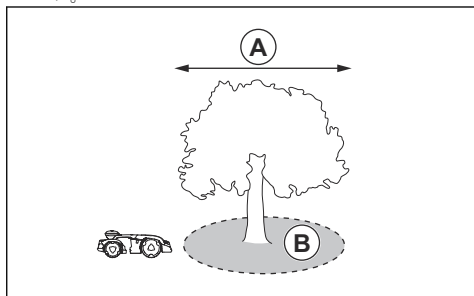
3.9.1 建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには

- 本製品の稼働場所の上空の 90° 部分が遮られていないことを確認します。



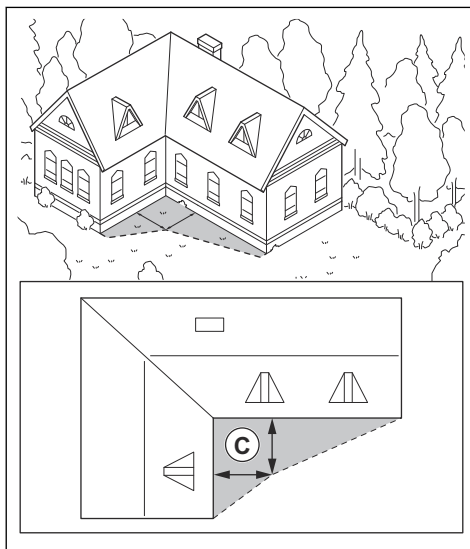
注記： 上空が遮られていると、本製品は、移動に必要な衛星信号を受信できません。

- 直径 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々の周りには、進入制限ゾーン (B) を設けてください。

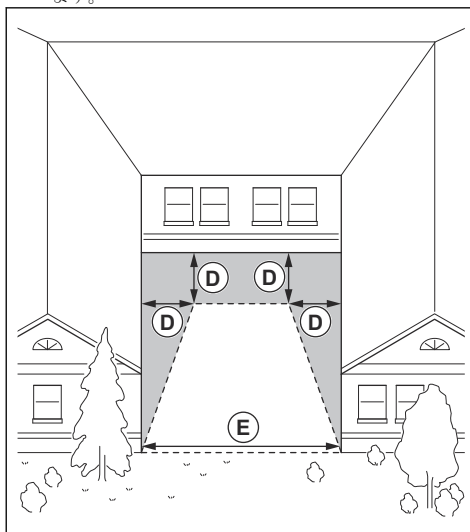


注記： 直径 (A) が 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々により、本製品が一時停止する可能性があります。通常、木が小さければ本製品の動作に干渉することはありません。

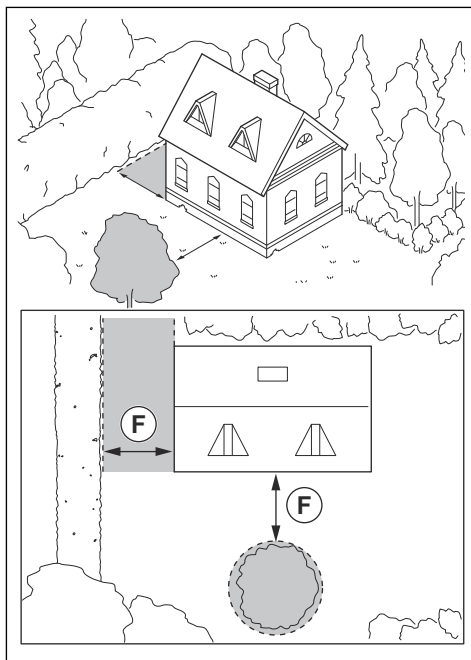
- L 字型の建物がある場合は、建物から 1.5 m/5 フィート以上の位置に仮想境界を設置します。



- U 字型の建物があるエリアに仮想境界を設置するには、距離 (E) が 6 m/20 フィート以上あることを確認します。建物が 3 m/10 フィートよりも高い場合は、距離 (E) が最も高い建物の高さの 2 倍であることを確認します。建物から 1.5 m/5 フィート以上離れた距離 (D) の位置に仮想境界を設置します。



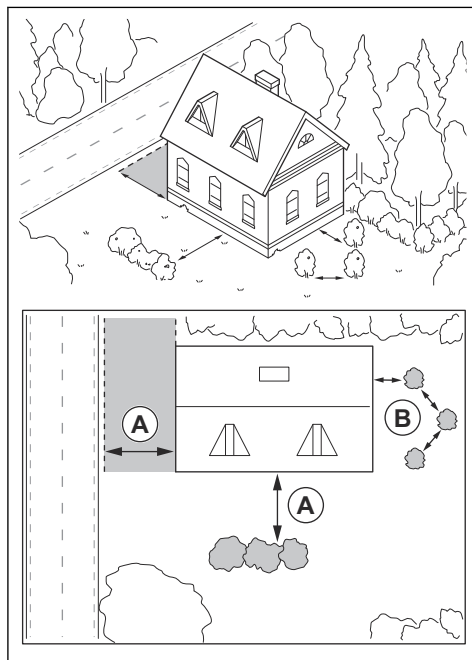
- 物体間のエリアの距離 (F) が 4 メートル/13.1 フィート以上であることを確認します。



注記：幅が 4 m/13.1 フィート未満のエリアの場合、刈り込みせずにロボット芝刈機を通過させる輸送経路を設けることができます。

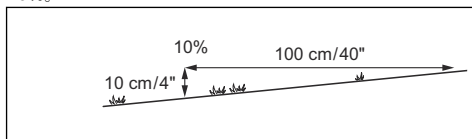
3.9.2 地図上の狭い通路のどこに物体を設置するかを検討する

- 1 m/3.3 フィート未満の物体間の通路の最小幅が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。
- 1 m/3.3 フィート未満の物体と 1 m/3.3 フィートを超える物体の間の最小幅 (A) が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。
- 1 m/3.3 フィート未満の物体 (B) 間の最小距離が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。



3.9.3 斜面での地図オブジェクトの設置

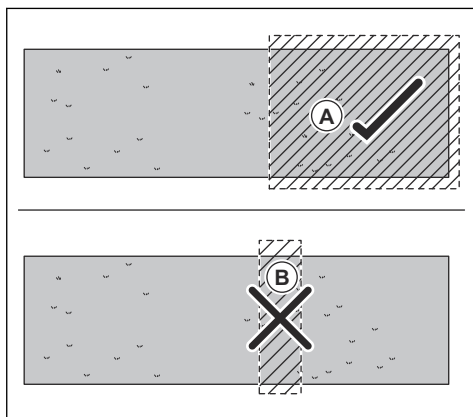
本製品は、作業エリアの 70% 斜面でも動作します。仮想境界の最大斜度は 50% です。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリア内の勾配が 70% を超える斜面は、周囲に進入制限ゾーンを設置して隔離してください。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁にフェンスまたは保護壁を設置してください。
- Husqvarna は、芝の損耗を防ぐために斜面を直登するよう、体系化された方向パターンを設定することをお勧めします。

3.9.4 進入制限ゾーンの設置場所について

- 物体の周囲に 2 x 2 m/6.6 x 6.6 フィートを上回る進入制限ゾーンを設けてください。
- 進入制限ゾーンが 30 x 30 cm/1 x 1 フィート以上であることを確認してください。
- 進入制限ゾーンには、本製品が進入してはならない完了エリア (A) があることを確認してください。



注記： 本製品が作業エリアの一部に入らないようにするには、作業エリアを横断するような進入制限ゾーン (B) を設けないでください。

3.10 本製品の設置

3.10.1 設置ツール

- 8 mm 六角レンチ (カートンに同梱)。

3.10.2 チャージステーションの設置

チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 14 ページ」を参照してください。



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



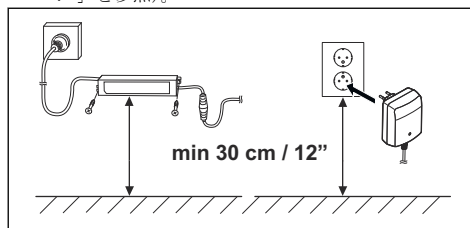
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器 (RCD) に接続された電源コンセントのみを使用してください。

3.10.2.1 チャージステーションを設置する方法

- 選択した場所にチャージステーションを置きます。
- 付属のネジを使用してチャージステーションを地面に固定します。
- 低電圧ケーブルをチャージステーションと電源装置に接続します。

- 電源を 30 cm/12 インチ以上の高さのある場所に置きます (「電源装置の取り付け場所について 15 ページ」を参照)。



- 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。
- 低電圧ケーブルを作業エリアの外の地面に設置します。ケーブルをペグで固定するか、または地中に埋めます。

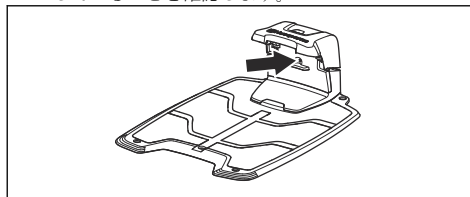
3.10.2.2 本製品の充電

- 本製品をチャージステーションに入れます。本製品の front と rear がまっすぐになっていることを確認します。この位置合わせにより、本製品がチャージステーションから直線を出発できます。

注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が開始されます。

3.10.2.3 チャージステーションを目視点検する方法

- チャージステーションの LED インジケータが点灯していることを確認します。



3.10.3 Husqvarna Fleet Services™ によるペアリング

- Husqvarna Fleet Services™ アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
- Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。
- 本製品をオンにします。
- ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
- 本製品の Bluetooth® ボタンを押して、Bluetooth® を有効にします。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

6. アプリで [Add Robotic mower (ロボット芝刈機の追加)] を選択して製品を追加し、アプリの指示に従います。

3.10.4 リファレンスステーションの設置

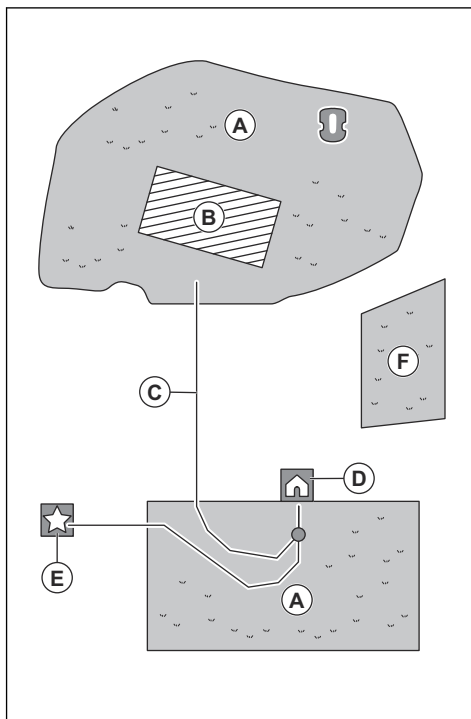
リファレンスステーションの取扱説明書に記載されている指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.10.5 地図オブジェクトの設置

地図オブジェクトの設置に関する指示を読み、理解してください。「地図上のどこに物体を設置するかを検討する 15 ページ」を参照してください。

地図上に、アプリでフォローする物体を設置できます。

- 作業エリア (A)
- 進入制限ゾーン (B)
- 輸送経路 (C)
- チャージステーション (D)
- メンテナンスポイント (E)
- 作業エリア (セカンダリエリア) (F)



完全な地図をインストールするには、地図上に作業エリアとチャージステーションを設置する必要があります。

作業エリアは、仮想境界によって指定されます。最大 20 作業エリアとセカンダリエリアを地図上に設置できます。

作業エリアには、次の 2 つのタイプがあります。

- チャージステーションがある作業エリア、または本製品が自動的に動作する輸送経路がある作業エリアに接続された作業エリア。
- セカンダリエリアとは、チャージステーションと輸送経路がない作業エリアです。本製品を手動で動かして、作業エリアを行き来させる必要があります。

輸送経路とは、チャージステーション前のドッキングポイントと作業エリア間の指定経路です。本製品はこの経路内で自動的に作動しますが、芝を刈ることはありません。輸送経路は、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。

本製品を稼働させないエリアがある場合は、進入制限ゾーンを設置します。進入制限ゾーンは、仮想境界によって指定されます。進入制限ゾーンは、アプリで一時的に有効または無効にできます。

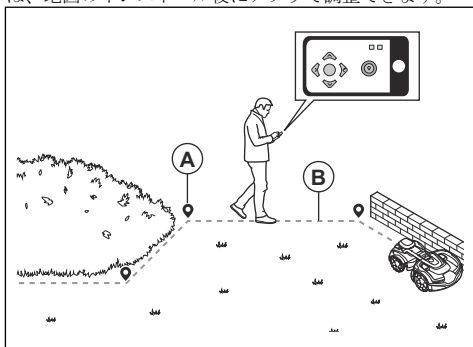
メンテナンスポイントとは、本製品を駐車できる指定位置のことです。これは、本製品のメンテナンスを行うサービスポイントなどに使用できます。メンテナンスポイ

ントは、経路を使用してドッキングポイントと接続します。

地図上に物体を設置するには、appDrive 装置を使用して製品を操作し、地図上に通過点を追加します。「地図上での物体の設置 20 ページ」を参照してください。

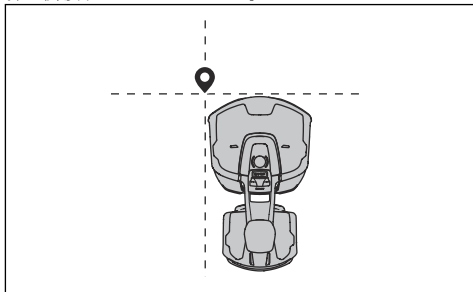
3.10.5.1 地図上での物体の設置

通過点 (A) は、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。線は、通過点間で直線になります。使用する通過点はできるだけ少なくすることをお勧めします。各作業エリア、関連する進入制限ゾーンおよび輸送経路に関して、通過点の合計最大数は 800 です。ハスクバーナでは、地図上の通過点の総設置数を 1000 点以内にすることをお勧めします。曲線を滑らかにするには、複数の通過点を使用します。また、通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上に設定することをお勧めします。通過点の位置は、地図のインストール後にアプリで調整できます。

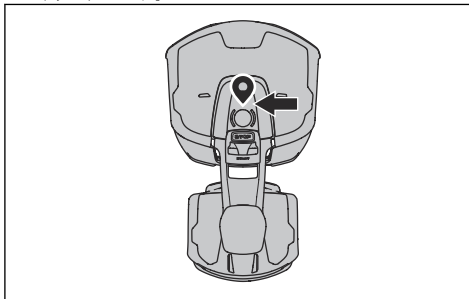


注意： 地図オブジェクトをインストールするときは、通過点間で本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。appDrive を使用して正しく設置してください。

注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。仮想境界は、本製品が稼動する領域を指定します。本製品は、カッティングディスクの位置により、仮想境界に隣接する芝は刈りません。



注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



- 自分が本製品の近くにいること、Bluetooth® アプリを使用して本製品に接続していることを確認してください。
- appDrive で、ステータスが [EPOS® confirmed (EPOS® 確認済み)] になっていることを確認します。

注記： Bluetooth® で接続したゲームコントローラーを appDrive で使用して、本製品を操作できます。

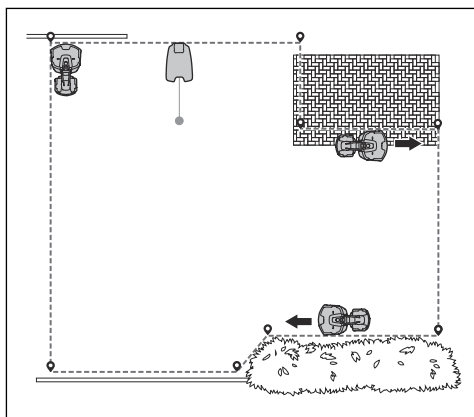
- 設置するオブジェクトを選択し、appDrive の設置ボタンで本製品を操作します。
- ジョイスティックを使用して、本製品を任意の方向に移動、回転させることができます。
- 地図上に通過点を追加するには、[Waypoint (通過点)] ボタンを使用します。

注記： appDrive で本製品を操作する場合は、本製品の 2~3 m (6.5~9.8 フィート) 後ろを歩いてください。

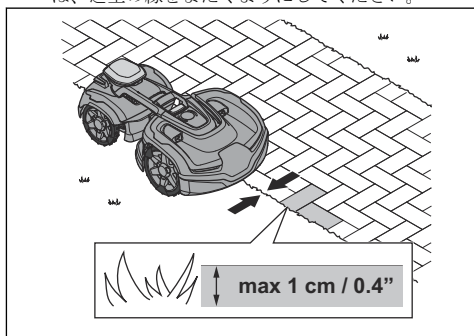
作業エリアを作成する

作業エリアを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 作業エリアの境界線を中心として、時計方向に本製品を操作し、通過点を追加します。

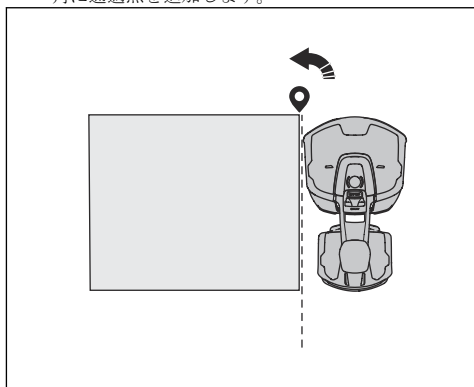


- 芝生と敷石の間の縁に、本製品に芝刈りをさせるための通過点を追加します。通過点を追加するときは、芝生の縁をまたぐようにしてください。

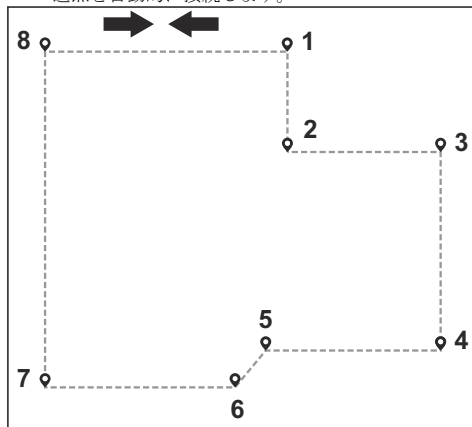


注記： 敷石の高さが芝生に対して 1 cm (0.4 インチ) 以下であれば、本製品は縁をまたぐことができます

- 角部分の周囲に仮想境界を設置するために、外側の角に通過点を追加します。



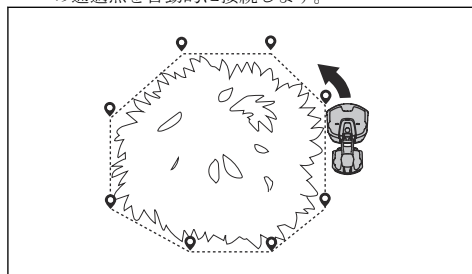
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ作業エリア内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 作業エリアを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。



進入制限ゾーンを作成する

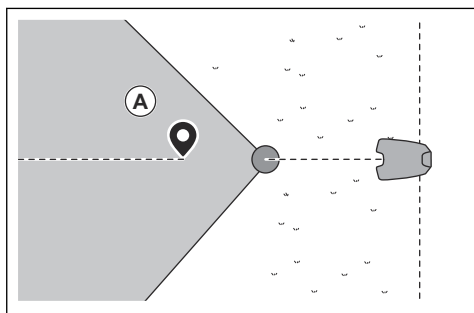
進入制限ゾーンを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 本製品を進入制限ゾーンの境界周囲で反時計方向に移動させるか、アプリで既定の形状を選択します。
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ進入制限ゾーン内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 進入制限ゾーンを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。

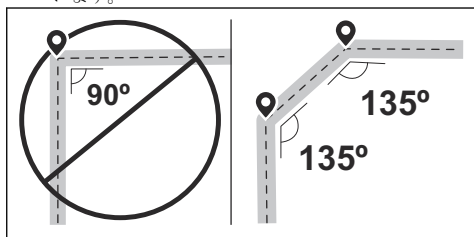


輸送経路を作成する

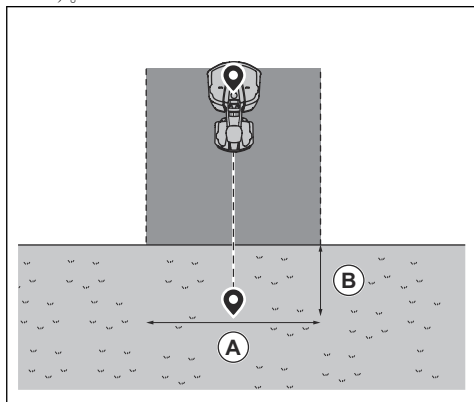
- 製品を操作して地図上に通過点を追加し、輸送経路を設置します。作業エリアまたはチャージステーションの近くから開始します。
- 作業エリアに、最初または最後の通過点を、仮想境界から 1 m (3.3 フィート) 以上の距離を空けて設置します。
- 輸送経路 (A) 上に、ドッキングポイントから見て角度が ± 45 度となるように、最初または最後の通過点を設置します。



- 作業エリアの仮想境界に対して垂直に輸送経路を設置します。
- 進入制限ゾーンを横切るように輸送経路を設置しないでください。
- 輸送経路が同じ輸送経路を横切るような通過点を設置しないでください。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。**Husqvarna** では、滑らかな曲線を作成するために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。

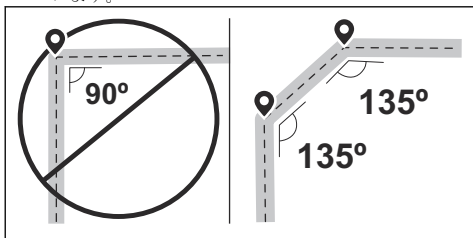


- 本製品を操作して通過点を追加し、輸送経路をドッキングポイントに接続します。
- 輸送経路を保存すると、ドッキングポイントに輸送経路が自動的に接続されます。
- 輸送経路の経路幅 (A) を設定します。経路幅は 2 ~ 5 m (6.6 ~ 16.4 フィート) の範囲で設定できます。

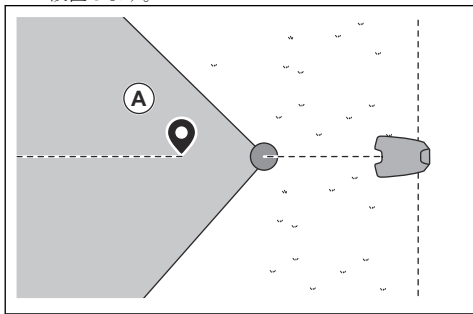


メンテナンスポイントを作成する

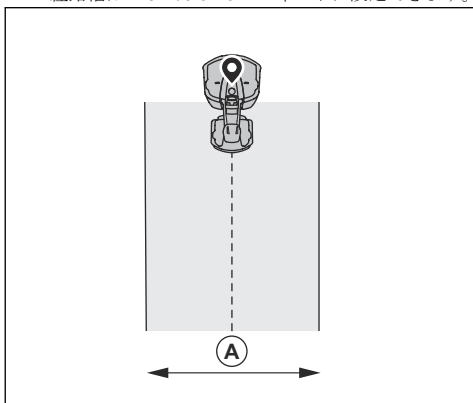
- 本製品を操作して、地図上に通過点を追加します。メンテナンスポイントを設置する位置で、通過点の追加を開始します。最初の通過点により、メンテナンスポイントが指定されます。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。**Husqvarna** では、滑らかな曲線を作成するために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。



- 本製品を操作して通過点を追加し、チャージステーションまでの経路を作成します。
- ドッキングポイントから見て ± 45 度の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



- メンテナンスポイントを保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。
- メンテナンスポイントの経路幅 (A) を設定します。経路幅は 2-5 m/6.6-16.4 フィートに設定できます。



4 境界ワイヤーを使用した設置

4.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

4.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようにします。
 - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

4.3 設置準備

設置を開始する前に、「設置」に関する章をお読みください。本製品が正常に動作するように、慎重に設置準備を行います。

- 作業エリアの設置図を作成し、すべての障害物を記載します。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー位置の検査が容易になります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの位置をこの設置図に記入します。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する位置を、設置図に記入します。「ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページ」を参照してください。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。



注意： 芝生内に水の溜まった穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

- 本製品を設置する前に芝を刈り、端部のトリミングを行ってください。このとき、芝は 5 cm / 2 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

4.4 ワイヤーを設置する前に

ワイヤーの設置には、ベグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。



注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

4.4.1 チャージステーションの設置場所について

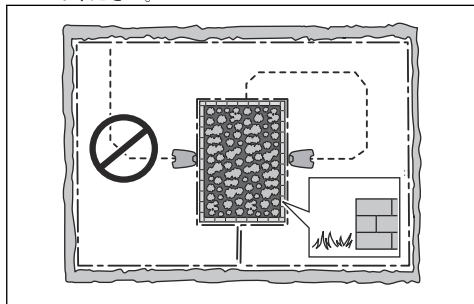
- チャージステーションの前には、3 m / 10 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションの左右には、1.5 m / 5 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。

max. 5 cm / 2"

max. 5 cm / 2"



- チャージステーションは、作業エリア内で最も広く、障害物のない場所に設置してください。
- チャージステーションは、散水システムのない場所に設置してください。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。アイランドを作る方法 26 ページを参照してください。



4.4.2 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。

- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

4.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、公道の間に 15 cm / 6 インチ以上の高さの保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品を砂利の上で使用しないでください。



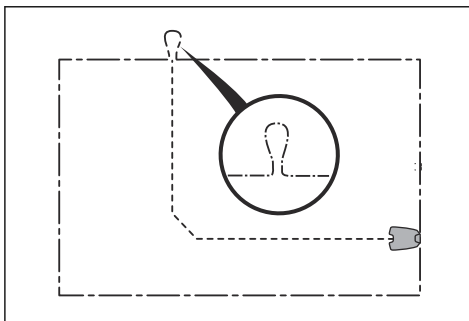
注意： 境界ワイヤーを敷設する際にワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



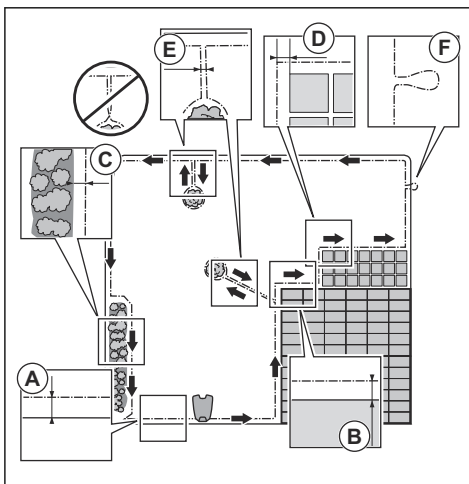
注意： 動作時の異音を防ぐために、樹木、根、石などの障害物をすべて取り除いてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことを内蔵センサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は、境界ワイヤーから 35 m / 115 フィート以内である必要があります。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチの部分にアイレットを設置します。

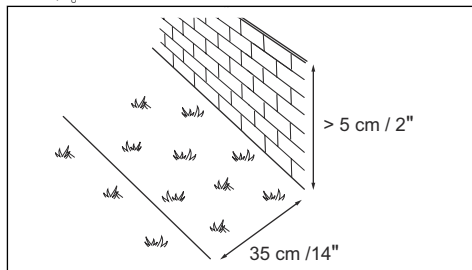


注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

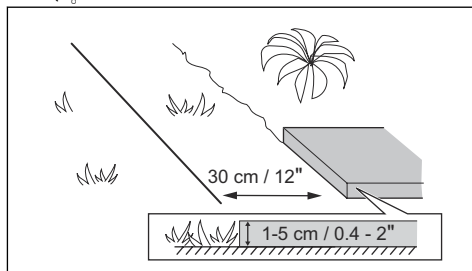


- 境界ワイヤーを作業エリア全体 (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。

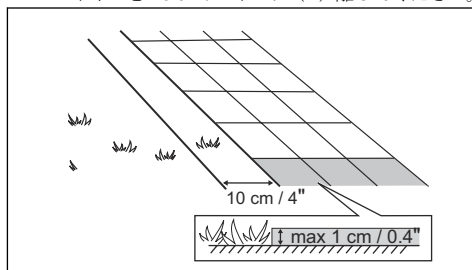
- 高さが 5 cm / 2 インチを超える障害物からは、境界ワイヤーを 35 cm / 14 インチ (B) 離してください。



- 高さが 1-5 cm / 0.4-2 インチの障害物からは、境界ワイヤーを 30 cm / 12 インチ (C) 離してください。



- 高さが 1 cm / 0.4 インチ未満の障害物からは、境界ワイヤーを 10 cm / 4 インチ (D) 離してください。



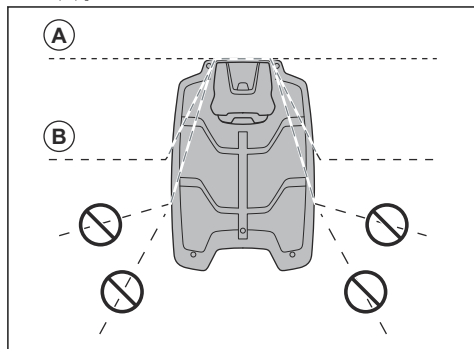
- 芝生と同じ高さの敷石道がある場合は、境界ワイヤーを敷石の下に敷設してください。

注記： 敷石の幅が 30 cm / 12 インチ以上の場合、敷石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) 機能を工場出荷時の設定にして使用します。参照：ワイヤー通過運転 35 ページ。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を隣接して (E) 敷設します。この 2 本のワイヤーは、同じベグに入れてください。参照：アイランドを作る方法 26 ページ。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する位置に、アイレット (F) を作成します。

4.4.4 境界ワイヤーをチャージステーションの周囲に配置する方法の検討

- Husqvarna では、境界ワイヤーをチャージステーションからまっすぐに配置することをお勧めします (A)。

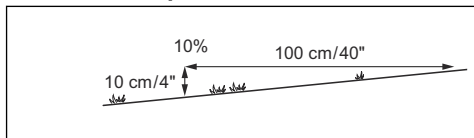


- 必要な場合、境界ワイヤーをチャージステーションの下に斜めに配置できます (B)。

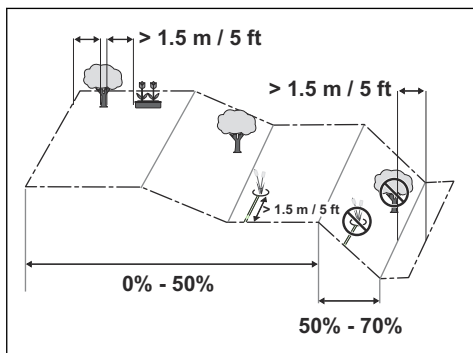
注記： 境界ワイヤーをチャージステーションの下から離れた位置には配置しないでください。本製品は、チャージステーションを見つけて入ることが難しいかどうかを判断できます。

4.4.4.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

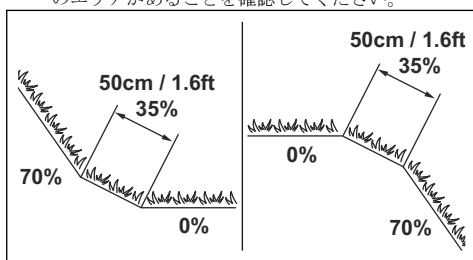
本製品は 70% 斜面でも動作します。70% を超える斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 本製品は、作業エリアの最大 50% の斜面で通常どおり動作します。境界ワイヤーと障害物の間、または障害物どうしの間の距離を 1.5 に保ってください。
- 50-70% の斜面の場合は、斜面に障害物がないことを確認してください。勾配の底から境界ワイヤーまで、1.5 m/5 フィートの距離が必要です。



- 平坦な地面と急な斜面の間に 50 cm / 1.6 フィートのエリアがあることを確認してください。



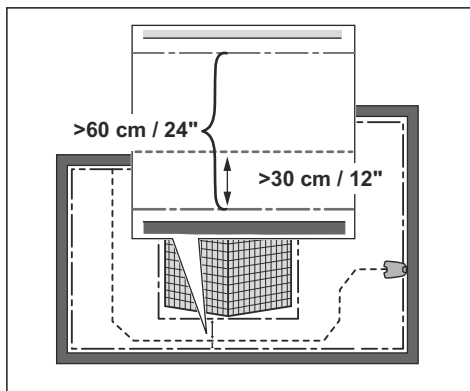
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm / 6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁やフェンスを保護壁として使用することができます。

4.4.4.2 経路

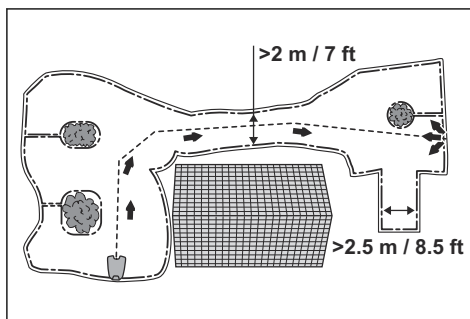
経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。良好な芝刈り結果を得るには、経路が 2 m / 6.5 フィート幅以上である必要があります。ガイドワイヤーが経路全体に敷設されている場合、短い経路は 60 cm / 2 フィートまで狭めることができます。長く狭い経路は、芝刈り結果に悪影響を与える可能性があります。

注記： 経路の幅が 2 m / 6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

本製品は、チャージステーションを正面から見た場合、常にガイド用ワイヤーの左側を走ります。ガイドワイヤーと境界ワイヤーの間の距離について、ガイドワイヤーは右の境界ワイヤーから経路の合計幅の 1/3 を離し、経路の左側から合計幅の 2/3 の位置に敷設することをお勧めします (A)。ガイドワイヤーと境界ワイヤー間の最小距離は 30 cm / 12 インチです。



行き止まり部の幅は、2.5 m / 8.5 フィート以上にする必要があります。



4.4.4.3 アイランドを作る方法



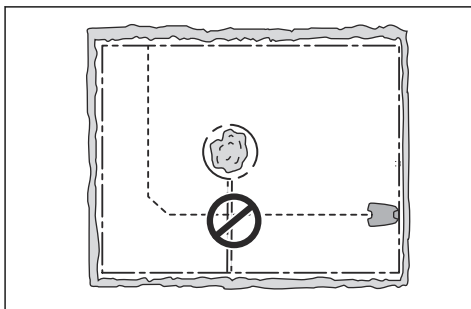
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



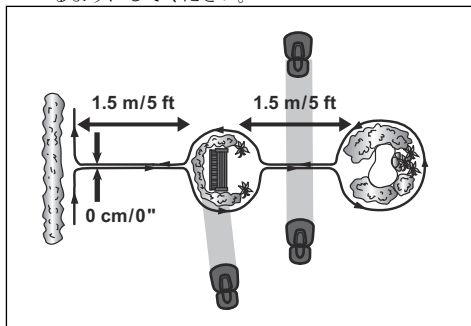
注意： 高さ 15 cm / 6 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

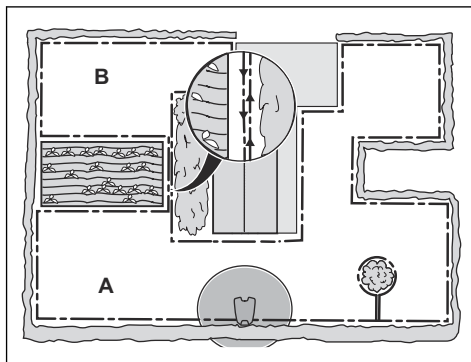
高さ 15 cm/6 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じペグに入れてください。
- 障害物の前に、少なくとも 1.5 の空きスペースがあるようにしてください。



4.4.4.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間には、本製品を手動で移動させる必要があります。

- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 26 ページを参照してください。

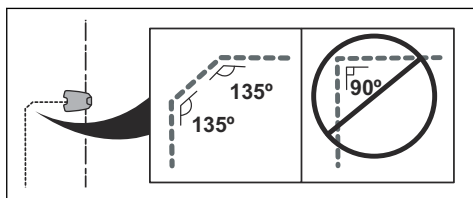
注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、[Secondary area (セカンダリエリア)] モードを選択する必要があります。セカンダリエリア 37 ページを参照してください。

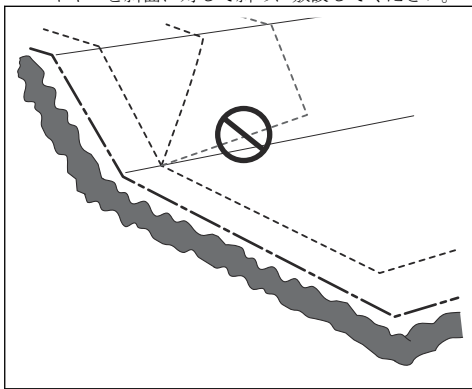
4.4.5 ガイドワイヤーの敷設場所について

チャージステーションのガイドワイヤーは作業エリアを通過して境界ワイヤーに接続します。本製品には、ガイドワイヤーが 2 本あります。ガイドワイヤーはすべて、以下の方法で同様に敷設してください。

- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションに向かって、ガイドワイヤーの左側にできるだけ多くの空きスペースがあるようにしてください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の下から斜面の上までまっすぐに敷設してください。まっすぐに敷設できない場合は、ガイドワイヤーを斜面に対して斜めに敷設してください。

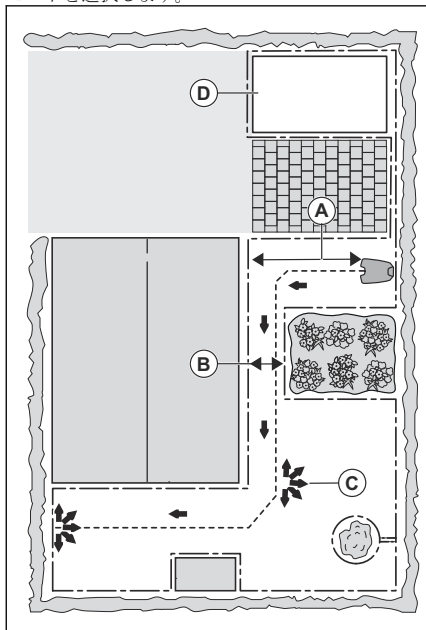


注意： 図に示すように、ガイドワイヤーを斜面と平行にしないでください。このように設置すると、芝の傷みが激しくなるおそれがあります。

4.4.6 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が **3 m / 10 フィート** 以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路 (B) がある場合は、境界ワイヤーの距離を **2 m / 6.5 フィート** 以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を **60 cm / 24 インチ** 以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路 (B) でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は**芝生範囲 35** ページで変更できます。
- 本製品に搭載された **GPS アシストナビゲーション** は、運転の最適化に役立ちます。**芝生範囲 35** ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、**セカンダリエリアを作成する方法 27** ページ

を参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、**[Secondary area (セカンダリエリア)]** モードを選択します。



4.5 本製品の設置

4.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

4.5.2 チャージステーションを設置する方法



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

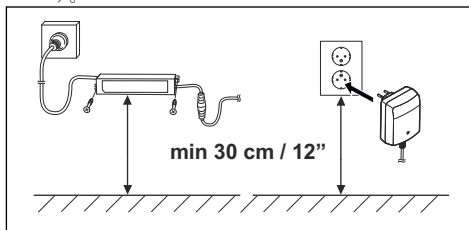


警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

1. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを取り付けるまで、ネジを使用してチャージステーションを地面に設置しないでください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。

2. 低電圧ケーブルをチャージステーションと電源装置に接続します。
3. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



4. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。
5. ケーブルをベグで地面に固定するか、または地中に埋めます。「ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 30 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 30 ページ」を参照してください。
6. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。

4.5.3 本製品の充電

1. 本製品をチャージステーションに入れます。本製品の前部と後部がまっすぐになっていることを確認します。この位置合わせにより、本製品がチャージステーションから直線での出発できます。

注記： 本製品がチャージステーションに入ると、自動的に充電が開始されます。

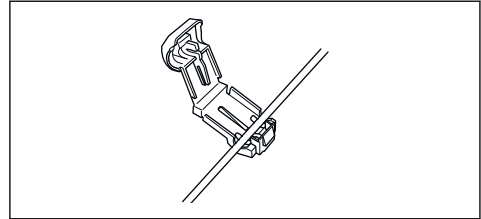
4.5.4 境界ワイヤーを取り付ける方法



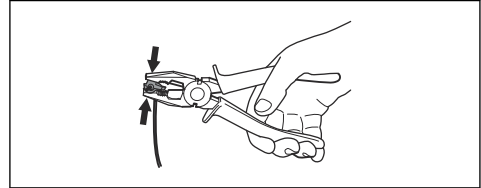
注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。

2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 境界ワイヤーの右側の端を、「AR」というマークの付いたチャンネルに入れます。
6. 境界ワイヤーの左側の端を、「AL」というマークの付いたチャンネルに入れます。
7. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
8. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。
9. 左右の境界ワイヤーにケーブルマークを付けます。チャージステーションの上を歩かないでください。

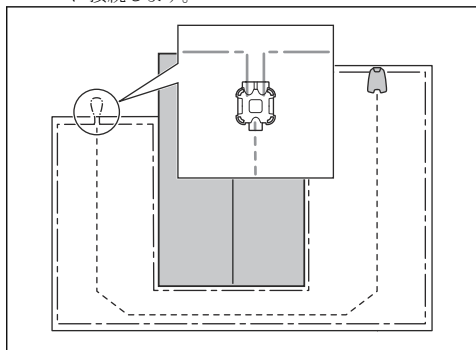
4.5.5 ガイドワイヤーを取り付ける方法



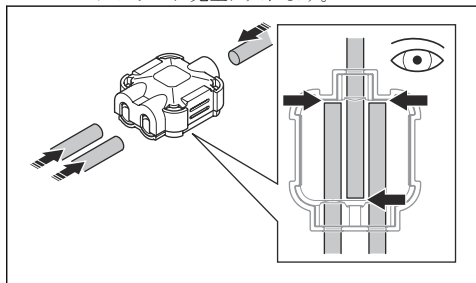
注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押してチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「G1, G2, G3」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。

7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤークッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カブラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。

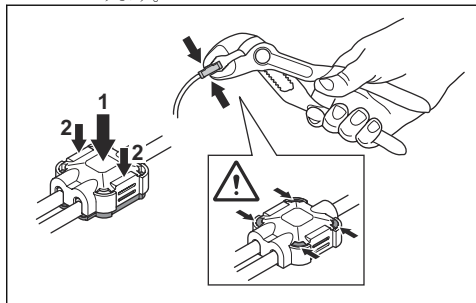


- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカブラーに完全に入れます。



注記： 正しく設置するため、ワイヤーがカブラーに完全に入っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルブライヤーでカブラーのカバーを押下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。「ペグを使ってワイヤーまたは

ケーブルを所定の位置に固定する 30 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 30 ページ」を参照してください。

11. チャージステーションを電源に接続します。

4.6 ペグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する



注意： ペグがワイヤーまたはケーブルを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝生を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーまたはケーブルの絶縁を損傷するおそれがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. ワイヤーまたはケーブルを地面に配置します。
2. ペグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーまたはケーブルは芝で覆われて見えなくなります。

4.7 ワイヤーまたはケーブルを埋設する

- エッジカッターまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 1-20 cm/0.4-8 インチの深さでワイヤーまたはケーブルを埋設します。

4.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

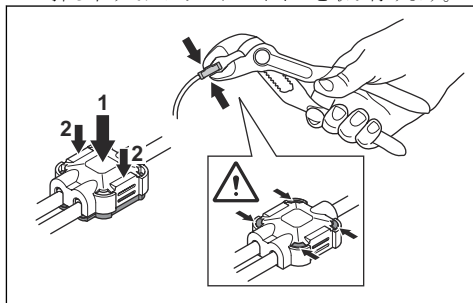
注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カブラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤークッターで切断します。
3. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。

- ワイヤーの端部をカブラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカブラーの透明部分を通っていることを確認します。

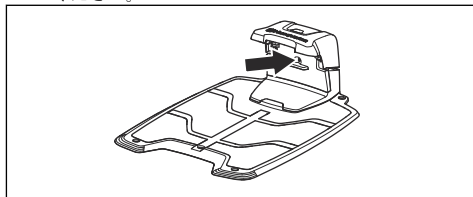
- アジャスタブルプライヤーでカブラーのカバーを押下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



- ペグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
- チャージステーションを電源に接続します。

4.9 チャージステーションを目視点検する方法

- チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。LED インジケータの詳細については、「チャージステーションの LED インジケータ 53 ページ」を参照してください。



- LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションの LED インジケータ 53 ページおよびチャージステーションを設置する方法 28 ページを参照してください。

4.10 Husqvarna Fleet Services™ によるペアリング

- Husqvarna Fleet Services™ アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
- Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。
- 本製品をオンにします。

- ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
- 本製品の Bluetooth® ボタンを押して、Bluetooth® を有効にします。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

- アプリで [Add Robotic mower (ロボット芝刈機の追加)] を選択して製品を追加し、アプリの指示に従います。

5 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

5.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] メニューで、本製品のスケジュール設定を変更できます。作業エリアごとに個別のスケジュールを設定できます。セカンダリエリアはスケジュールを設定できません。スケジュール機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。

作業エリアの形状、障害物の数、斜面により、芝刈り性能が低下します。

	システマチック芝刈り	不規則な芝刈り
対応エリア - スポーツ 24	毎日芝刈り	毎日芝刈り
対応エリア - 標準 48	1 日おきに芝刈り	毎日芝刈り
対応エリア - 最大 72	2 日おきに芝刈り	毎日芝刈り

本製品の最大対応エリアは、用途や芝生の品質によって異なります。

- 対応エリア - スポーツ 24：毎日（24 時間）芝刈りする必要がある、競技場やゴルフ場のフェアウェイの最大対応エリアです。手入れが行き届いた緑が生い茂る高密度の芝や、刈高が低い芝生に適しています。
- 対応エリア - 標準 48：1 日おきに（48 時間）システマティックに芝刈りする必要がある、施設周辺エリアやゴルフ場のラフなど、多くの芝生の最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。標準的な芝生品質を中程度の刈高で芝刈りする場合に有効です。
- 対応エリア - 最大 72：2 日おきに（72 時間）システマティックに芝刈りできる、施設周辺エリアの最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。成長が遅い芝を高い刈高で芝刈りする場合に有効です。

5.1.1 システマチック芝刈りのスケジュールの設定方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリア全体の芝刈りを終えた後、本製品はチャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は再び作業エリア全体を芝刈りします。

注記： セッションを終了する前に本製品が作業エリア全体を刈れなかった場合は、チャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は停止した場所から芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。
- 本製品が各作業エリアの芝刈りを 24 時間以内に完了しているか確認してください。本製品が作業エリアの芝刈りを 24 時間以上する必要がある場合は、作業エリアをより狭い作業エリアに分割します。

5.1.2 不規則な芝刈りスケジュールの設定方法

本製品は、スケジュールされた時間すべてで不規則な芝刈りを行います。

- 運転時間を短くするか、天候タイマー機能を使用して芝の損耗を防止します。天候タイマー 33 ページを参照してください。
- 刈り込みの仕上がりがない場合は、運転時間を長くしてください。スケジュール 32 ページを参照してください。
- 異なる作業エリアに平行して 2 つ以上のスケジュールを設定している場合、製品は最初に 1 つの作業エリアの芝刈りを開始します。製品を充電するたびに、別の作業エリアの芝刈りを開始します。

5.2 刈高



刈高は、作業エリアごとに個別に設定します。刈高は 3-7 cm/1.2-2.8 インチに設定できます。

5.2.1 刈高調整

刈高は、作業エリアごとに個別に設定します。

刈高は、3-7 cm/1.2-2.8 インチに設定できます。



注意： 新規設置後の最初の数週間は、ループワイヤーを損傷しないように、刈高を 7 cm/2.8 インチに設定する必要があります。その後、毎週刈高を下げるができます。

5.3 パターン



EPOS™ による設置の場合は、各作業エリアの芝刈りパターンを設定できます。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。
- パターンによっては、境界の芝刈りの種類を設定できます。固定境界の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。可変境界芝刈りでは、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。

Husqvarna では、広い作業エリアや開放的な作業エリアの作業には、規則的なパターンの使用をお勧めしています。障害物のある作業エリアで規則的なパターンを使用する場合は、障害物の周囲に進出制限ゾーンを設け、可能な限り仕上がりが良好になるよう多方向に芝刈りを行うパターンを使用します。

Husqvarna では、作業エリアが複雑な場合や障害物が多い場合、または急斜面を含む場合に、不規則なパターンの使用をお勧めしています。

5.4 構成



5.4.1 ECO モード

[ECO mode (ECO モード)] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： [ECO mode (ECO モード)] は、電力を節約し、ヒアリンググループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

5.4.1.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2 秒待ってから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

5.4.2 障害物回避

[Object avoidance (障害物回避)] 機能により、本製品は、障害物に近づくと速度を下げ、衝突を回避します。

注記： このため、障害物の周囲の芝が刈られなくなることがあります。この機能が原因で、背の高い芝を本製品が十分に切断できなくなることがあります。

5.4.3 天候タイマー

天候タイマーにより、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： 天候タイマーを使用する場合、天候タイマーの運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、引き続き動作するかどうか天候タイマーにより決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、またはすべてのユーザー設定がリセットされた場合は、天候タイマーがリセットされます。スケジュール設定のリセットが行われても、天候タイマーは変更されません。

5.4.4 警告灯

警告灯のタイミングを制御する設定には、以下の 4 つがあります。

- 常時オン
- 夕方のみ
- 夕方と夜間
- 常時オフ

警告灯は、白色の点灯、オレンジ色の点灯、またはストロボアンバーライトに設定できます。また、エラー発生時に警告灯が点滅するように設定できます。

注記： Husqvarna では、特に夜間に警告灯を使用することをお勧めしています。

5.4.5 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩耗が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広くなります。

5.4.6 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻はリセットされません。

5.4.7 セキュリティ

セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。[Security (セキュリティ)] メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

5.4.7.1 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

5.4.7.2 ストップボタン押下状態

アラーム「STOP button pressed (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが [STOP (ストップ)] ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

5.4.7.3 持ち去り

アラーム「Carried away (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

5.4.7.4 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときにのみ、GeoFence は有効化されます。

5.5 設置の設定

EPOS® による設置の場合、[Installation (設置)] メニューで境界ワイヤーの設置とループ信号の設定を変更できます。

5.5.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探そうと設定できます。

- チャージステーションの信号
- 境界ワイヤーに沿う
- ガイドワイヤーに沿う

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するように設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができますとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常にチャージステーションの信号の検索から開始します。指定された間隔の後には、ガイドに沿うと境界ワイヤーに沿うも使用します。本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーがチャージステーションの設置場所について 23 ページ、境界ワイヤーの敷設場所について 24 ページ、ガイドワイヤーの敷設場所について 27 ページの指示に従って設置されていない。

5.5.1.1 チャージステーションの信号

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーションが低木や壁などの障害物の近くに置かれている場合などです。本製品は、障害物の反対側にあるチャージステーション信号を検出し、チャージステーションを探しますが、障害物がチャージステーションへの移動を妨げます。チャージステーション信号を [min (最小)]、[avg (平均)]、[max (最大)] に設定できます。

注記： Husqvarna では、チャージステーション信号を [max (最大)] に設定することをお勧めします。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

5.5.1.2 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの追従

本製品が境界ワイヤーとガイドワイヤーを追従してチャージステーションの検知を開始するタイミングに関する時間間隔を設定できます。

5.5.2 境界ワイヤーのテスト

1. 次のメニューを選択します。[Installation (設置)] > [Find charging station (チャージステーション探索)] > [Test : Boundary wire setup (テスト : 境界ワイヤー設置)]
2. 本製品を境界ワイヤーから 3 m/9 フィート離し、境界ワイヤーに向けます。
3. **START** ボタンを押します。
4. 本製品が境界ワイヤーに沿ってチャージステーションまで移動することを確認します。
5. 本製品がチャージステーションにドックすることを確認します。
6. 本製品がチャージステーションにドックしない場合は、チャージステーションまたは境界ワイヤーの位置を変更します。チャージステーションを設置

する方法 28 ページおよび境界ワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。

5.5.3 ガイドワイヤーのテスト

1. 次のメニューを選択します。[Installation (設置)] > [Find charging station (チャージステーション探索)] > [Test : Guide 1-3 setup (テスト : ガイド 1~3 設定)]
2. 本製品をガイドワイヤーから 3 m/9 フィート離し、ガイドワイヤーに向けます。
3. **START** ボタンを押します。
4. 本製品がガイドワイヤーに沿ってチャージステーションまで移動することを確認します。
5. 本製品がチャージステーションにドックすることを確認します。
6. 本製品がチャージステーションにドックしない場合は、チャージステーションまたはガイドワイヤーの位置を変更します。チャージステーションを設置する方法 28 ページおよびガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。

5.5.4 芝生範囲

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。

[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能を使用して、手動設定にします。

注記： GPS アシストナビゲーションを有効化すると、GPS サービスがある場合にナビゲーションがオンになります。GPS サービスが利用できない場合、本製品は動作の手動設定を使用します。

5.5.4.1 芝生範囲機能の設定

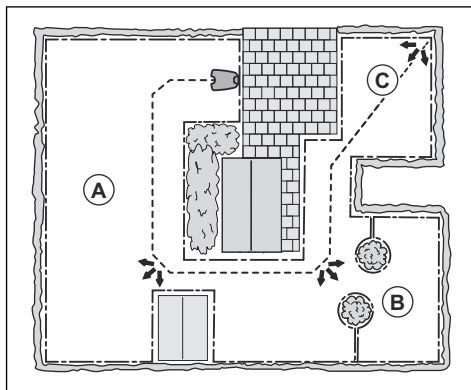
本製品が作業エリア内の離れた部分を芝刈りできるように、[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能を使用します。狭い通路で接続している離れた部分が作業エリアに含まれる場合、十分に刈られた作業エリアを保持するために、[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能を使用します。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

本製品は最初に、指定された距離になるまでガイドワイヤーに沿って走行し、作業エリアで芝刈りを開始します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



エリアごとに有効または無効にできます。[Test (テスト)] 機能を使用して、チャージステーションから製品が芝刈りを開始する必要がある地点までの距離を測定します。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 20% の割合でガイドワイヤーに 300 m/980 フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

5.5.5 ワイヤー通過運転

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。[Drive past wire (ワイヤーを通過)] 機能の工場出荷時設定は 31 cm/13 インチです。20-50 cm/8-15 インチの範囲で距離を選択できます。

注記： 工場出荷時の設定では、本製品はワイヤーを通過して 11 cm/4.3 インチ刈ります。

注記： [Drive Past Wire (ワイヤーを通過)] の距離が変更されると、作業エリア内にあるすべての境界ワイヤーについて距離が変更されます。

5.5.6 スタート地点

[Starting point (スタート地点)] 機能を使用すると、本製品が動作を開始する前にチャージステーションからどの程度前進するかを設定できます。この機能は、スペースが限られたエリアにチャージステーションを設置する場合に使用します。

注記： スタート地点は、チャージステーションの前方からガイドワイヤーまでの距離よりも近くに設定してください。ガイドワイヤーの敷設場所について 27 ページを参照してください。

5.5.7 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

5.6 Bluetooth® メニュー

Bluetooth® メニューは、Husqvarna Fleet Services™ のアプリバージョンからのみアクセスできます。安全性とセキュリティ上の理由から、一部のメニューは Bluetooth® 接続でのみ使用できます。

Bluetooth® を使用して本製品に接続するには、Bluetooth® の通信範囲内（約 30 m/100 フィート）にいる必要があります。アプリの Bluetooth® アイコンを押すと、Bluetooth® に接続できます。

5.6.1 セキュリティ設定

5.6.1.1 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに 8 ページ。

5.6.2 全般

5.6.2.1 Time & date（時刻 & 日付）

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

5.7 エラーログ

このメニューでは、過去のエラーメッセージを確認できます。また、エラーの修正に役立つヒントやアドバイスも確認できます。同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。

5.8 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。Husqvarna では、新しいファームウェアが利用可能になった際に、ファームウェアのアップデートをお勧めしています。

5.9 チャージステーションを地図上に再設置するには

チャージステーションを移動または交換する場合は、地図上にチャージステーションを再設置します。また、製品をチャージステーションにドッキングできない場合や、チャージステーションに接続できない場合にも再設置を行うことができます。

1. [Modify installation（設置内容の変更）]を選択してから、地図上のチャージステーションを選択します。
2. [Reinstall（再設置）]を選択し、指示に従います。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

5.10 リファレンスステーションを地図上に再設置するには

リファレンスステーションを移動または交換する場合は、リファレンスステーションを地図上に再設置します。

1. [Modify installation（設置内容の変更）]を選択してから、地図上のリファレンスステーションを選択します。
2. [Reinstall（再設置）]を選択し、指示に従います。

注記： リファレンスステーションを移動する場合、工場出荷時の状態にリセットして、すべての地図を再度インストールする必要があります。

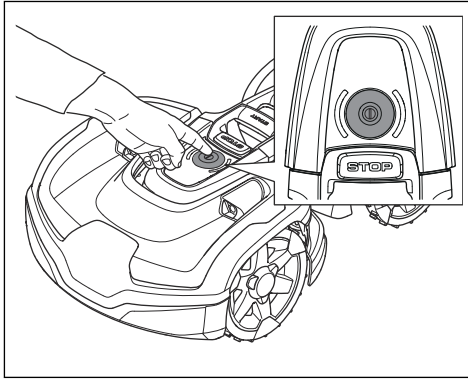
6 Operation (操作)

6.1 本製品をオンにする



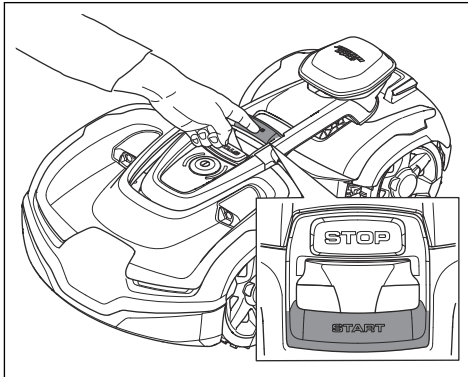
警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押します。



注記： **[STOP]** ボタンが押し下げられていることを確認します。

2. 必要に応じて、Husqvarna Fleet Services™ で PIN コードを入力します。
3. Husqvarna Fleet Services™ で動作モードを選択します。動作モードの **[Start (開始)]** を選択する 37 ページを参照してください。
4. **[START]** ボタンを押して、本製品を始動します。



バッテリーが完全に充電され、**[Schedule (スケジュール)]** で本製品が動作するように設定されている場合にのみ、本製品はチャージステーションから移動できます。

6.2 動作モードの **[Start (開始)]** を選択する

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[Start (開始)]** を選択し、次の動作モードのいずれかを選択します。**[Resume Schedule (スケジュールを再開)]** **appDrive** または **[Select working area (作業エリアを選択)]**。

6.2.1 スケジュールを再開

製品が、スケジュールされた作業エリアで芝刈りを継続し、自動で充電を行います。

6.2.2 appDrive

本製品をアプリで手動操作するには、appDrive を使用します。

6.2.3 作業エリアを選択

この機能を使用すると、選択した作業エリアで一時的に本製品を運転できます。不規則なパターンを使用する作業エリアでは、この機能の制限時間の選択が可能です。設定時間を経過すると、製品はスケジュールに従って動作を継続します。規則的なパターンを使用する作業エリアでは、本製品は、選択した作業エリアの芝刈りが完了するまで刈り込みを続けます。作業エリアの芝刈りが終わっても、本製品は設定されたスケジュールどおりに刈り込みを続けます。

6.2.3.1 セカンダリエリア

製品をセカンダリエリアで操作するには、本製品をセカンダリエリアに手動で移動する必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。

6.3 動作モード - Park (駐車)

アプリで **[Park (駐車)]** を選択すると、次の動作モードを選択できます。

- **Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)**
- **時間の選択**

6.3.1 Park until further notice (さらなる通知があるまで駐車)

動作モード **Park (駐車)** では、新しい動作モードが選択されて **START** ボタンが押されるまで、本製品はチャージステーションに留まります。

6.3.2 時間の選択

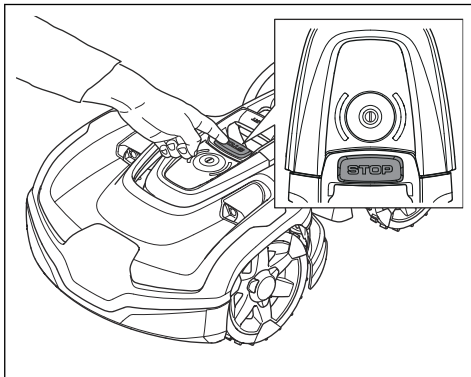
本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

6.3.3 動作モード - 一時停止

Husqvarna Fleet Services™ で [Pause (一時停止)] を選択すると、本製品が現在の動作を中止し、一時停止します。本製品の一時停止を解除するには、Husqvarna Fleet Services™ で [Park (駐車)] または [START] を選択します。

6.4 本製品の停止方法

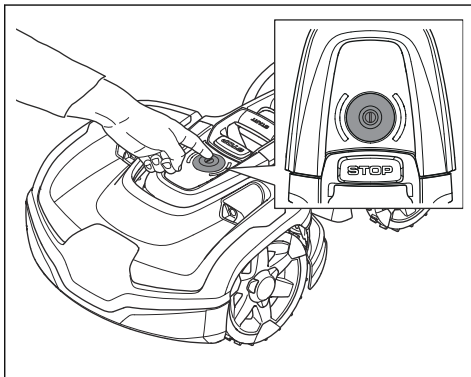
1. 本製品の上部にある [STOP] ボタンを押します。



本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。

6.5 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押します。LED インジケータが消灯していることを確認します。

注記： LED インジケータが点灯している場合、または点滅している場合。参照： **LED ステータスインジケータ 11 ページ**。

注記： 本製品がチャージステーションに駐車しているときは、本製品をオフにできません。

6.6 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。
3. 本製品のディスプレイで、本製品が充電されていることを確認します。

注記： バッテリーが空の場合、本製品を起動する前に長時間充電する必要があります。

7 メンテナンス

7.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 3 ～6 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- ・ 作動時間および作業エリアの寸法。
- ・ 芝の長さや厚さ。
- ・ 土壌、砂、および肥料の使用。
- ・ 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、刈り取り結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、「ブレードの交換 41 ページ」を参照してください。

7.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
製品を清掃します。参照：製品の清掃 40 ページ。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照：ブレードの交換 41 ページ。	X		
チャージステーションの接点プレートを確認して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照：バッテリーの充電 38 ページ。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを確認して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを確認します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクタを確認します。		O	

準備	毎週	1年に1回	3年に1回
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		○	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		○	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			○
エアフローフィルターを点検して清掃します。		○	
エアフローフィルターを交換します。			○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			○
フロント/リヤホイールベアリングおよびリンクアームベアリングを点検します。		○	
最後のステップ			
ソフトウェアサービストールを使用して、本製品の機能テストを行います。		○	

7.3 製品の清掃



注意： 本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

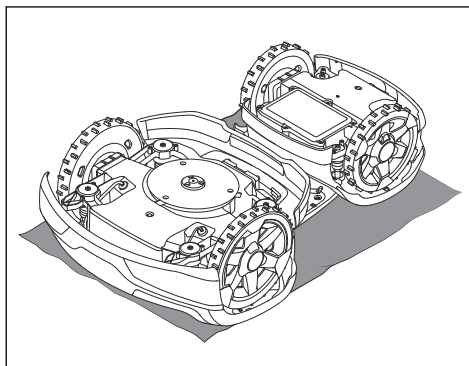
本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。本製品の清掃には柔らかいブラシを使用してください。

Husqvarna は、アクセサリとして入手可能な特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。

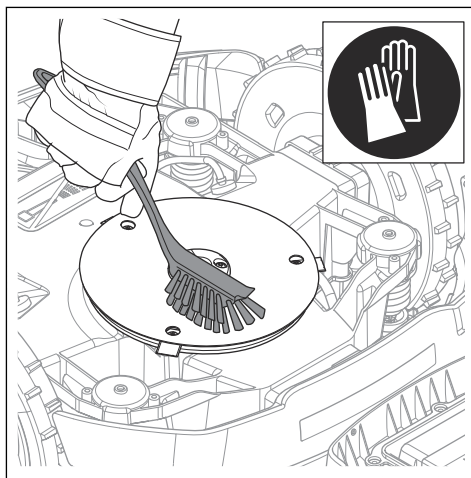
7.3.1 ブレードディスクを清掃する方法

ブレードディスクとブレードは週に 1 回点検してください。

1. 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 38 ページ。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. ブラシを使用して、ブレードディスクを清掃します。



4. ブレードディスクがスムーズに回転することを確認してください。
5. ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。

7.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

7.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

7.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹸液を使用して、本製品の本体を清掃します。

7.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

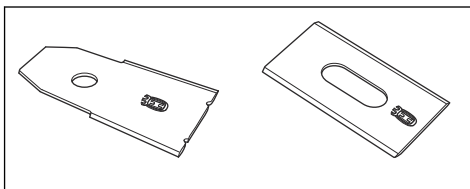
注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

7.4 ブレードの交換



警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

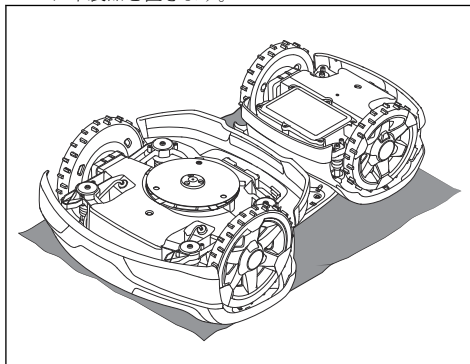


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

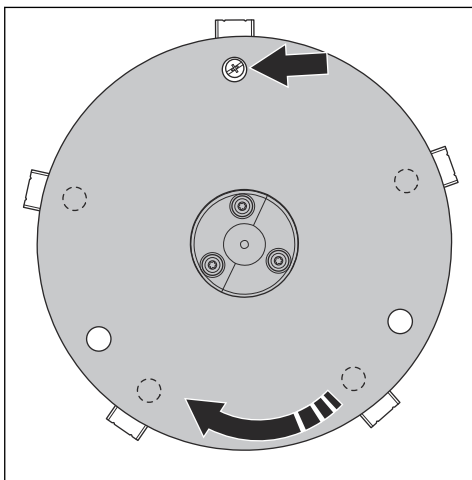
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、5 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

7.4.1 ブレードの交換

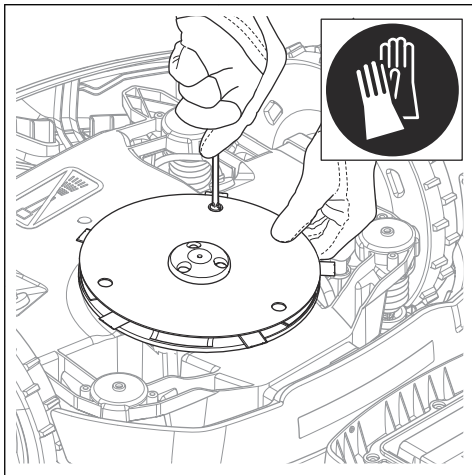
1. 本製品をオフにします。参照： 本製品をオフにする 38 ページ。
2. 保護グローブを着用します。
3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



4. ブレードのネジがスキッドプレートの穴の位置に揃うまで、スキッドプレートを回します。



5. 5本のネジを外します。



6. 各ブレードとネジを外します。
7. 新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

7.5 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を1日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または1日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

7.6 冬期の保守

Husqvarna センtralサービスにお問い合わせいただき、本製品を保管する前に冬期の保守をご依頼ください。本製品の冬期の保守は、良好な状態を維持するために年1回実施してください。

通常、冬期の保守では次の手順を実施します。

- カuttingデッキとドライブユニットの清掃。
- 機能テストとコンポーネントテストの実施。
- ブレードやベアリングなどの摩耗部品の点検と、必要に応じた交換。
- バッテリー容量の点検と、必要に応じたバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが利用可能な場合は、ファームウェアのアップデート。

8 トラブルシューティング

8.1 はじめに - トラブルシューティング

本章には、機能不良があると Husqvarna Fleet Services™ に表示される多数のメッセージが記載されています。各メッセージに関して、原因と取るべき対策の提案も記載されています。この章では、本製品が期待通りに作動しない場合にガイドとして役立つ、いくつかの症状も説明しています。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

8.2 メッセージ

Husqvarna Fleet Services™ に表示されるメッセージは、下表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、ハスクバーナ販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、多数の障害物の背後の小さな領域で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。
<i>Wheel motor blocked</i> (ホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Wheel drive problem</i> (ホイール駆動の問題)		
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Wrong PIN code (PIN コードの誤り)</i>	入力された PIN コードが誤っています。入 力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロッ クされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードが正しくない場合は、アプリのリンク を使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレ スを登録していない場合は、最寄りの地域の ハスクバーナ販売店にお問い合わせくださ い。
<i>Empty battery (バッ テリー空)</i>	境界ワイヤーを使用した設置で： 本製品がチャージステーションを見つけるこ とができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページ</i> を参照してください。 チャージステーションの探索方法について、 設置時の設定を確認してください。チャージ ステーションの探索 <i>34 ページ</i> を参照してく ださい。
	EPOS® による設置の場合： 本製品がチャージステーションを見つけるこ とができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージステ ーションが見つかりません。 障害物によって、製品がチャージステーション を見つけれられません。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー <i>42 ペ ージ</i> を参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合が あります。	チャージステーションのインジケータランプ が赤色に点滅しているかどうか点検してくだ さい。チャージステーションの <i>LED</i> インジ ケータ <i>53 ページ</i> を参照してください。
<i>Slipped (スリップ)</i>	本製品は何かにつっかかっており、スリップ しています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因 を解消してください。濡れた草が原因であれ ば、芝生が乾いてから本製品を使用してくだ さい。
	作業エリア内に急な斜面があります。	最大許容勾配は 70 % です。これより急な斜 面は隔離してください。境界ワイヤーを斜面 に設置する方法 <i>25 ページ</i> を参照してくださ い。
	境界ワイヤーを使用した設置で： ガイドワイヤーが斜面に適切に敷設されてい ません。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに取り付 けられていることを確認します。ガイドワイ ヤーを取り付ける方法 <i>29 ページ</i> を参照して ください。
<i>Wheel motor overloaded (ホイール モーターが過負荷に なっています)</i>	本製品が何かにつっかかっています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因 を解消してください。濡れた草が原因であれ ば、芝生が乾いてから本製品を使用してくだ さい。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked (ステーションブロック)	チャージストリップとコンタクトストリップの接触がおそらく不良で、本製品が何度も充電を試みました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージストリップとコンタクトストリップの接触が良好であることを確認してください。接点プレートとチャージプレートを清掃してください。
	障害物に妨げられていると、本製品がチャージステーションに入れません。	障害物を取り除いてください。
	ベースプレートが傾いているか曲がっています。	ベースプレートを平らな地面に置いてください。
Stuck in charging station (チャージステーションにスタック)	本製品はベースプレート上でスリップしています。	ベースプレートをきれいにします。
	経路に異物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down (上下反転)	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Mower tilted (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが許容角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Lifted (持ち上げられました)	障害物によりリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Lifted in link arm (リンクアームが持ち上げられました)	障害物によりリンクアーム内のリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Slope too steep (急すぎる斜面)	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	作業エリアの設置を変更して、問題の急斜面を作業エリアから除きます。境界ワイヤーの敷設場所について 24 ページを参照してください。
Alarm! (注意!) Mower switched off (芝刈機スイッチオフ)	本製品がオフになったため、アラームが作動しました。	本製品のセキュリティレベルを [Security (セキュリティ)] メニューで調整してください (セキュリティ設定 36 ページを参照)。
Alarm! (注意!) Mower stopped (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Mower was moved (芝刈機が動かされました)	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Alarm! (注意!) Outside geofence (ジオフェンス外)	芝刈機が GeoFence の外に出たため、アラームが起動しました。	Husqvarna Fleet Services™ で盗難防止エリア (GeoFence) を調整します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Electronic problem</i> (電気系の問題)	電子システムまたはソフトウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Loop sensor problem</i> (ループセンサーの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサー不具合)		
一時的な問題		
STOP ボタン不具合		
<i>Ultrasonic problem</i> (超音波の問題)		
<i>GPS navigation problem</i> (GPS ナビゲーションの問題)		
<i>Angular sensor problem</i> (角度センサーの問題)		
<i>Switch cord problem</i> (スイッチコードの問題)		
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効なサブデバイス組み合わせ)		
<i>Invalid system configuration</i> (無効なシステム設定)		
<i>Lift sensor problem</i> (リフトセンサーの問題)		
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)		
<i>Safety function faulty</i> (安全機能の不具合)		
<i>FlexiFence</i> の問題	FlexiFence アクセサリーのバッテリー残量が少なくなっています。FlexiFence アクセサリーは、バッテリーが空の場合動作しません。FlexiFence アクセサリーを充電する前に本製品を始動すると、進入制限ゾーンで芝刈りを行うことがあります。	本製品を始動する前に、本製品を駐車して FlexiFence アクセサリーを充電してください。 本製品は、日光から保護されている場所に設置してください。本製品を始動する前に FlexiFence アクセサリーの温度を下げてください。
	FlexiFence アクセサリーの温度が上限を超えたため、オフになりました。	

メッセージ	原因	対応措置
一時的なバッテリーの問題	バッテリーまたはファームウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。
<i>Battery problem</i> (バッテリーの問題)		問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Battery temperature outside limits</i> (バッテリー温度が範囲外)	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
<i>Charging system problem</i> (充電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Charging current too high</i> (高すぎる充電電流)	電源装置が間違っているか、不具合があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
接続の問題	携帯電話通信モジュールに問題があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。境界ワイヤーの敷設場所について 24 ページを参照してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが説明書に従って設置されていることを確認してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
	境界ワイヤー、仮想境界、または仮想輸送経路が、急勾配エリアに設置されています。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体 (フェンス、補強鋼材) や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 36 ページを参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Limited cutting height</i> (刈高の制限)	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝やその他の不要な物体を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
<i>Unexpected cutting height</i> (予期しない刈高)		
<i>Cutting height problem, drive</i> (刈高の問題、駆動)		
<i>Cutting height blocked</i> (刈高ブロック)		
刈高の問題		
刈高問題、方向		
<i>No power in charging station</i> (チャージステーションの電力なし)	電源装置が間違っているか、不具合があります。	電源を点検します。必要に応じて、電源を交換します。
	電源の不具合です。	停電の原因を特定して解決してください。
	接点プレートとチャージプレートが接触していません。	チャージプレートと接点プレートが接続されていることを確認します。
<i>Cutting system imbalance</i> (カッティングシステムのアンバランス)	ブレードが少なすぎるか多すぎます。	ブレードディスクのブレードを点検します。
<i>Weak GPS signal</i> (GPS 信号微弱)	作業エリアの大部分で空が遮られています。	可能であれば、障害物を取り除いてください。 GPS ナビゲーション機能を無効にし、代わりに芝生範囲機能を使用してください。芝生範囲 35 ページを参照してください。
<i>Collision sensor problem, front/rear</i> (衝突センサー不具合、前/後) <i>Collision</i> (衝突)	障害物が原因で本製品が停止しました。	本製品を障害物から取り除き、停止の原因を調べます。
	製品本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	シャーシと本体の間にある汚れや異物を取り除き、本製品の本体がシャーシの周囲を自由に移動できることを確認してください。
	本製品の本体にゴム製ダンパーが正しく取り付けられていません。	ゴム製ダンパーが製品本体とシャーシに正しく取り付けられていることを確認します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。

メッセージ	原因	対応措置
Destination not reachable (移動先到達不可)	作業エリアまでの経路上に、通行をブロックする進入禁止が設定されているため、本製品は移動先に到達できません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、チャージステーションに戻る経路が障害物でブロックされています。	障害物を取り除きます。
	EPOS® による設置で、メンテナンスポイントへの経路が障害物でブロックされています。	障害物を取り除きます。
Destination blocked (移動先ブロック)	移動先への経路が障害物によりブロックされています。	移動先への経路で、ブロックしている障害物を取り除きます。
	移動先への経路が進入制限ゾーンによりブロックされています。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	EPOS® による設置で、作業エリアへの輸送経路がありません。	作業エリアへの輸送経路を作成してください。
Battery needs replacement (バッテリーの交換が必要)	バッテリーの健全性状態が低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。
Battery near end of life (バッテリーの寿命が近づいています)	バッテリーの健全性状態が大幅に低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>No loop signal</i> (ループ信号なし)	電源または電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が点灯していない場合は、電気が来ていないことを示します。コンセントの接続を調べて、アースプレーカーが落ちていないかを確認してください。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクタを交換してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、境界ワイヤーが破損しています。	チャージステーションの LED で信号を確認してください。LED が境界ワイヤーの破損を示している場合は、破損箇所を確認してください。純正のカブラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。ループワイヤーの損傷を発見 56 ページを参照してください。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとした。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 36 ページを参照してください。
	ワイヤーの設置で、アイランドまでの経路上に境界ワイヤーが交差しています。	境界ワイヤーが正しく敷設されていることを確認します。境界ワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
	金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	ワイヤーの設置では、境界ワイヤーを移動、および/または作業エリアのアイランドを増設することで、信号強度を高めることができます。
	ワイヤーの設置で、製品が境界ワイヤーから離れすぎています。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内になるように境界ワイヤーの設置を修正します。

メッセージ	原因	対応措置
チャージステーションの信号がない	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED インジケータを点検してください。LED インジケータが消灯している場合は、チャージステーションに給電されていません。電源コンセントと漏電遮断器を点検してください。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	ECO モードが有効になっています。本製品がチャージステーションの外から始動しようとした。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れます。チャージステーションに新規ループ信号を作成してください。
	金属製の物体や埋設ケーブルは信号干渉の原因になります。	チャージステーションを別の場所に移設してください。
<i>Invalid firmware configuration</i> (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが無効です。	本製品をチャージステーションに駐車し、FOTA 経由でファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
地図の問題	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。

メッセージ	原因	対応措置
作業エリアの改ざん	チャージステーションまたはリファレンスステーションが移動されました。	地図を新たにインストールしてください。
<i>Guide 1/2/3 not found</i> (ガイド 1/2/3 不明)	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクターがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカブラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷しているセクションを新品のループワイヤーと接合して交換してください。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーが境界ループに正しく接続されているか点検してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
衛星の検索中	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、本製品は始動します。 本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体がないかどうかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。地図オブジェクトの設置 19 ページを参照してください。
<i>Connection changed</i> (接続が変更されました)	新しいループ信号が正常に変更されました。	特別な操作は必要ありません。
<i>Connection NOT changed</i> (接続は変更されませんでした)	ループ信号の変更に失敗しました。	新しいループ信号を作成し、数回試行します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。新規ループ信号 36 ページを参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
リファレンスステーションの通信の問題	製品がリファレンスステーションに接続されていません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。
	本製品が動作するすべてのエリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。地図オブジェクトの設置 19 ページを参照してください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	リファレンスステーションの LED インジケータが、リファレンスステーションのエラーを示しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	エリア内の別のリファレンスステーションまたは他の無線システムとの干渉が生じています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

8.3 チャージステーションの LED インジケータ

正しく取り付けられている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色です。チャージステーションの LED インジケータが緑色でない場合は、次のトラブルシューティング表に従ってください。

最寄りの Husqvarna 販売店に問い合わせるか、
www.husqvarna.com で詳細を確認してください。

LED インジケータ	原因	対応措置
緑色に点灯	チャージステーションの信号は良好です。	特に必要ありません。
緑色に点滅	チャージステーション信号は良好で、ECO モードが有効になっています。	特に必要ありません。
青色に点滅	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーをチャージステーションに接続します。
	境界ワイヤーが損傷しています。	境界ワイヤーの損傷した部分を、新品の境界ワイヤーに交換します。
赤色に点滅	チャージステーションのアンテナに干渉があります。	最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色に点灯	回路基板のエラーか、チャージステーションに不適切な電源が接続されています。	エラーは必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

8.4 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ (よく尋ねられる質問集) があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。エラーの原因が見つからない場合は、最寄りの地域のハスクバーナ販売店にお問い合わせください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	境界ワイヤーがチャージステーションからまっすぐ敷設されておらず、十分な距離がありません。	チャージステーションが説明書に従って設置されていることを確認してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 29 ページを参照してください。
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを全体が水平な表面に置いてください。チャージステーションの設置場所について 23 ページを参照してください。
本製品が指定していない時間に作動する。	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。Time & date (時刻 & 日付) 36 ページを参照してください。
	芝刈りの開始時刻と終了時刻が不正確です。	開始時刻をリセットし、[Schedule (スケジュール)] 設定を変更します。スケジュール 32 ページを参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。ブレードの交換 41 ページを参照してください。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン (厚さ) のハスクバーナブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
走行するが、ブレードディスクが回転していない。	本製品は、チャージステーションを探しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。
バッテリーが空で、本製品をチャージステーションに駐車しても充電されずオンにすることができない。	バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーを充電して本製品をオンできるまで長時間かかります。	本製品をチャージステーションに 24 時間駐車してから、本製品をオンすることができるかをテストします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短い。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。ブレードディスクを清掃する方法 40 ページを参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー 42 ページを参照してください。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー 42 ページを参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	[STOP] ボタンが作動しました。	[START] ボタンが押し下げられていることを確認します。
	パーキングモードがオンになっています。	Husqvarna Fleet Services™ で動作モードを選択します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合は、本製品は動作できません。	チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
芝刈りの結果が不均一。	1 日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。スケジュール 32 ページを参照してください。
	作業エリアの配置に関して、[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能の設定が適切ではありません。	[Lawn coverage (芝生範囲)] 機能の設定を確認してください。芝生範囲を参照してください。
	作業エリアの形状によっては、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけられるように [Area 1-5 (エリア 1~3)] を使用する必要があります。	[Area 1-5 (エリア 1~3)] を使用して、本製品がリモートエリアに移動できるようにしてください。芝生範囲 35 ページを参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。スケジュール 32 ページを参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。ブレードの交換 41 ページを参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を大きくしてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。ブレードディスクを清掃する方法 40 ページを参照してください。
本製品が Husqvarna Fleet Services™ アプリに接続していません。	本製品をこれまでアプリに接続したことがない場合、Husqvarna Fleet Services™ アプリの [My mowers (登録した芝刈機)] リストに本製品は表示されません。	本製品とモバイルデバイスのペアリング操作を行います。Husqvarna Fleet Services™ によるペアリング 18 ページ。
本製品が Bluetooth® (短距離) でのみ Husqvarna Fleet Services™ アプリと接続され、携帯電話通信 (長距離) では接続されていない。	本製品が Husqvarna Fleet Services™ アプリと携帯電話通信で接続されていません。	モバイルデバイスで Husqvarna Fleet Services™ アプリを開き、新たにペアリング操作を行ってください。
追加のモバイルデバイスと本製品を接続できない。	本製品に Bluetooth® で接続できるモバイルデバイスは 1 台のみです。	接続されているその他のすべてのデバイスで、Husqvarna Fleet Services™ アプリを無効にしてください。問題が解決しない場合は、接続されたモバイルデバイスをオフにして再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

症状	原因	対応措置
以前は携帯電波接続が使用できたが、使用できなくなった。	携帯電波の接続に問題があります。	- エリアが携帯電波の範囲内であることを確認してください。 - 本製品を再始動してください。 - アプリに新しいファームウェアがある場合はインストールして最新のファームウェアにしてください。 Husqvarna Fleet Services™ アプリの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。 - 問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

8.5 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。設置時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。これを防止するため、設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

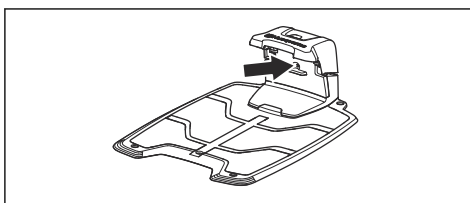
ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カブラーをブライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

ワイヤーが破損している場所は、破損が発生していそうな場所で、徐々にループの距離を半分にしながら、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るようにすることで発見できます。

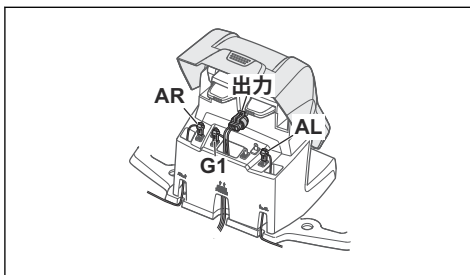
ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず **ECO モード**をオフにしてください。

ECO モード 33 ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。チャージステーションの **LED インジケータ 53** ページを参照してください。



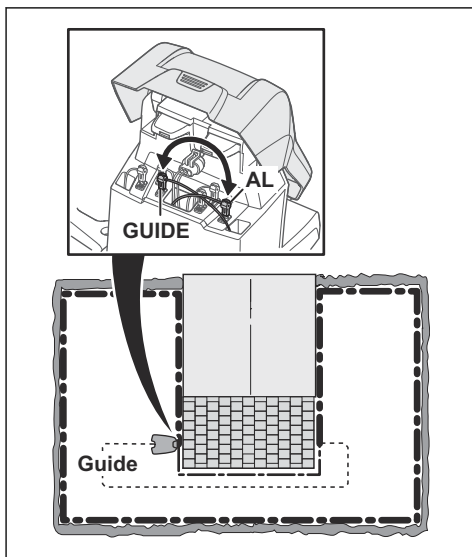
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているかどうか点検してください。



3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

AL および **G1** の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤー (**G2**、**G3**) が付属しています。これらのワイヤーについても同じ手順に従うことができます。

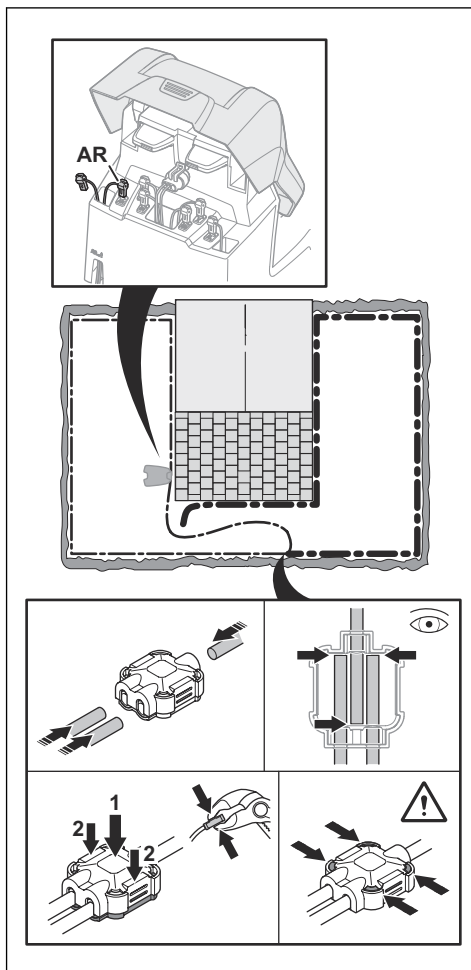
インジケータランプが緑色で点灯する場合は、境界ワイヤー上の **AL** とガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている地点の間 (図の黒い太線) のどこかで破損しています。



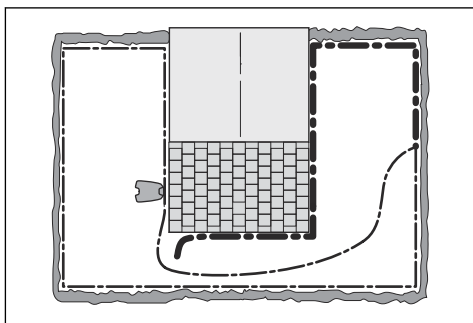
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカプラーが必要です。

a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は AL と、ガイドワイヤーと境界ワイヤー（太い黒い線）が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。

b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合（太い黒い線）、次の手順を実行します。AL と G1 を元の位置に戻します。AR の接続を外します。新品のループワイヤーを AR に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

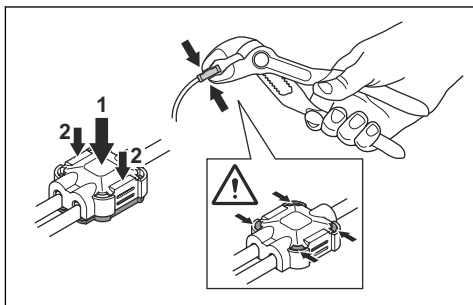


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間（下の図の黒い太線）のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて（破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで）、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: **AL** と **G1** を元の位置に戻します。次に **AR** と **G1** を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、**AL** の接続を外して、新しい境界ワイヤーを **AL** に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカプラーをお使いください。



9 搬送、保管、廃棄

9.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

9.2 保管

- 本製品を完全に充電します。参照：バッテリーの充電 38 ページ。
- 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 38 ページ。
- 製品を清掃します。参照：製品の清掃 40 ページ。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 本製品のすべてのホイールを水平面に接地させます。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクタを取り外します。各コネクタワイヤーの端をコネクタ保護ボックスに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクタを外さないでください。

- 製品の保管に使用できるアクセサリについての情報は、Husqvarna 販売店に連絡してください。

9.3 廃棄

このマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示します。お住まいの地域の電気および電子機器回収システムでリサイクルしてください。リサイクルをすることで、廃棄物の適切な管理が可能になります。詳細については、各地域の自治体、一般廃棄物処理サービス、販売店または小売店にお問い合わせください。有害物質が存在する可能性があるため、適切に廃棄しないと、環境や人体に悪影響を及ぼすおそれがあります。



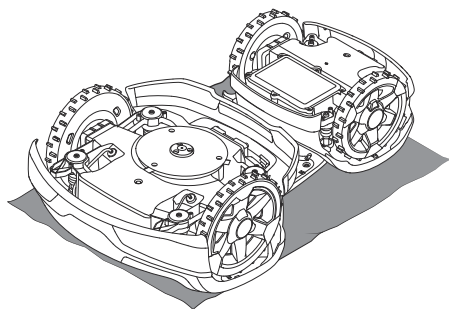
注記： マークは、本製品または製品の梱包材に表示されています。

9.3.1 バッテリーの取り外し方法

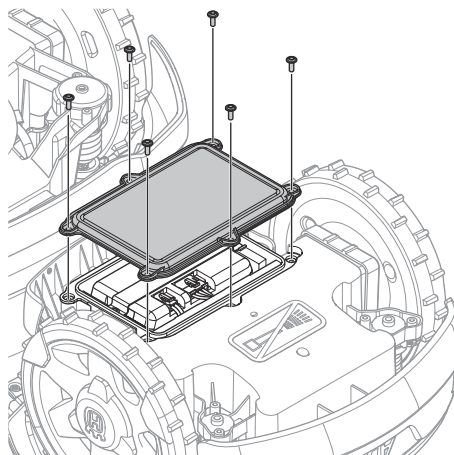


注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。

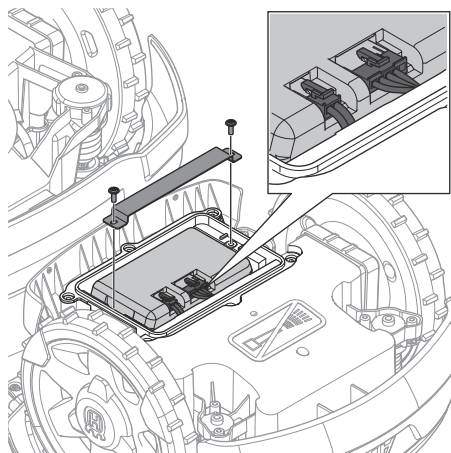
1. 本製品をオフにします。参照：本製品をオフにする 38 ページ。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. 6 本のネジとバッテリーカバーを取り外します。



4. 2本のネジとブラケットを取り外します。



5. 2本のケーブルをバッテリーから外し、バッテリーを取り外します。

10 主要諸元

10.1 主要諸元

寸法	Automower® 535 AWD EPOS
長さ (cm/インチ)	93/36.6
幅 (cm/インチ)	55/21.6
高さ (cm/インチ)	33/13.1
質量、kg/ポンド	17.6/39
電気系統	Automower® 535 AWD EPOS
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/8.0 Ah、品番	534 19 93-02、534 19 93-03、534 19 93-04
電源 (28 V DC)、V AC	100/240
低電圧ケーブル長、m/フィート	10/33
最大使用時での平均エネルギー消費量	25 kWh/月 (作業エリア : 3500 m ²)
充電電流、A DC	7
電源装置のタイプ ¹⁰	FW7458/28/D/XX/Y、ADP-200JR XX
一般的な芝刈り時間 (分)	145
一般的な充電時間 (分)	45
境界ワイヤーアンテナ	Automower® 535 AWD EPOS
動作周波数帯、Hz	100~80000
最大磁界、dBuA/m ¹¹	82
最大無線周波電力 ¹² 、mW @60m	<25
音響データ ¹³	Automower® 535 AWD EPOS
知覚騒音レベル、dB (A)	63
計測音響騒音レベル、dB (A)	62
騒音放射の不確定性 KWA、dB (A)	1
使用者の耳における音圧騒音レベル ¹⁴ 、dB (A)	54

¹⁰ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。「XX」は JP などの国バージョンを示し、「Y」は V などの製品リビジョンを示します。

¹¹ EN 303 447 に基づいて測定。

¹² 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

¹³ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

¹⁴ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2~4 dB (A)

芝刈り	Automower® 535 AWD EPOS
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (5 枚)
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2475
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	42
刈高、cm/インチ	3~7/1.2~2.8
刈幅、cm/インチ	22/8.7
ワイヤー設置に要する最も狭い幅 (cm/インチ)	60/24
EPOS® による設置の最小許容距離 (cm/インチ)	200/80
ガイドの数	3
作業エリアの最大斜度、%	70
境界ワイヤーの最大斜度、%	50
境界ワイヤーの最大長、m/フィート	800/2600
最大長のガイドループ ¹⁵ 、m/フィート	400/1300
対応エリア、不規則 - スポーツ 24、m ² /エーカー	2500/0.625
対応エリア、規則的 - スポーツ 24、m ² /エーカー	3000/0.75
対応エリア、不規則 - 標準 48、m ² /エーカー	3500/0.75
対応エリア、規則的 - 標準 48、m ² /エーカー	6000/1.5
対応エリア、不規則 - 最大 72、m ² /エーカー	4000/1
対応エリア、規則的 - 最大 72、m ² /エーカー	9000/2.25
IP コード	Automower® 535 AWD EPOS
ロボット芝刈機	IPX4
チャージステーション	IPX1
電源	IP44

¹⁵ ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

対応周波数帯	
Bluetooth® の周波数範囲	2400.0～2483.5 MHz
携帯電話通信接続、2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
携帯電話通信接続、4G	バンド 12 (700 MHz)、バンド 28 (700 MHz)、バンド 13 (700 MHz)、バンド 20 (800 MHz)、バンド 26 (850 MHz)、バンド 5 (850 MHz)、バンド 19 (850 MHz)、バンド 8 (900 MHz)、バンド 4 (1700 MHz)、バンド 3 (1800 MHz)、バンド 2 (1900 MHz)、バンド 25 (1900 MHz)、バンド 1 (2100 MHz)、バンド 18 (850 MHz)、バンド 66 (1700 MHz)、バンド 85 (700 MHz)
SRD868 (欧州)	863～870 MHz
SRD915 (北米)	902～928 MHz
SRD915 (オーストラリア)	915～928 MHz
SRD915 (ニュージーランド)	915～928 MHz

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
携帯電話通信接続、2G	出力クラス 4 (GSM/E-GSM)	33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS)	30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM)	27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS)	26 dBm
携帯電話通信接続、3G	出力クラス 3	24 dBm
携帯電話通信接続、4G	出力クラス 3	23 dBm
SRD868 (欧州)	13 dBm	
SRD915 (北米)	13 dBm	
SRD915 (オーストラリア)	13 dBm	
SRD915 (ニュージーランド)	13 dBm	

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

ハスクバーナ AB は、リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。はじめに 8 ページを参照してください。

10.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

11 日本市場に適用可能

11.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュールおよび携帯電話通信モジュールは、本製品に内蔵されています。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

D210191003



T

202-SMG024



AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2025 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144757-79



2025-09-19